



OnTime[®] *Group Calendar*

for Microsoft Teams(Ver.3.5.0-)

連携セットアップマニュアル
クイック & ステップ バイ ステップ

OnTime Group Calendar Direct Shop

2019/04/15

目次



- OnTime for Microsoft Teamsセットアップ手順 p.3
- Azure Portalでアプリの登録を行う p.4
- Azure PortalでアプリケーションIDのコピー p.7
- Azure Portalで認証の設定を行う p.8
- Azure Portalでクライアントシークレットの作成 p.10
- Azure Portalでクライアントシークレットのコピー p.13
- Azure PortalでAPIのアクセス許可を設定 p.14
- Azure Portalでアクセス許可に管理者で同意 p.21
- OnTime管理センターでアプリ登録します p.26
- OnTime管理センターからアクセス許可を確認 p.29
- OnTime側のconfig.htmlファイルを登録 p.34
- Teamsストアのアプリ登録用zipファイルの作成 p.38
- Teamsストアへアプリの新規登録 p.42
- 続きチームにアプリの追加 p.48
- その他のチームやチャンネルにアプリを追加 p.54
- 補足 p.61

OnTime for Microsoft Teams セットアップ手順



Microsoft Teams

OnTimeデモチーム > 一般 ...

OnTime®

新規作成 | チームを表示 | 会議の作成

1月14日(月) 1月15日(火)

博多 五郎 hakata@ontimedemo... 営業部

植田 03 03@ontimedemo... オンタイム事業部

神戸 四郎 kobe@ontimedemo... 技術部

浅井 01 01@ontimedemo... オンタイム事業部

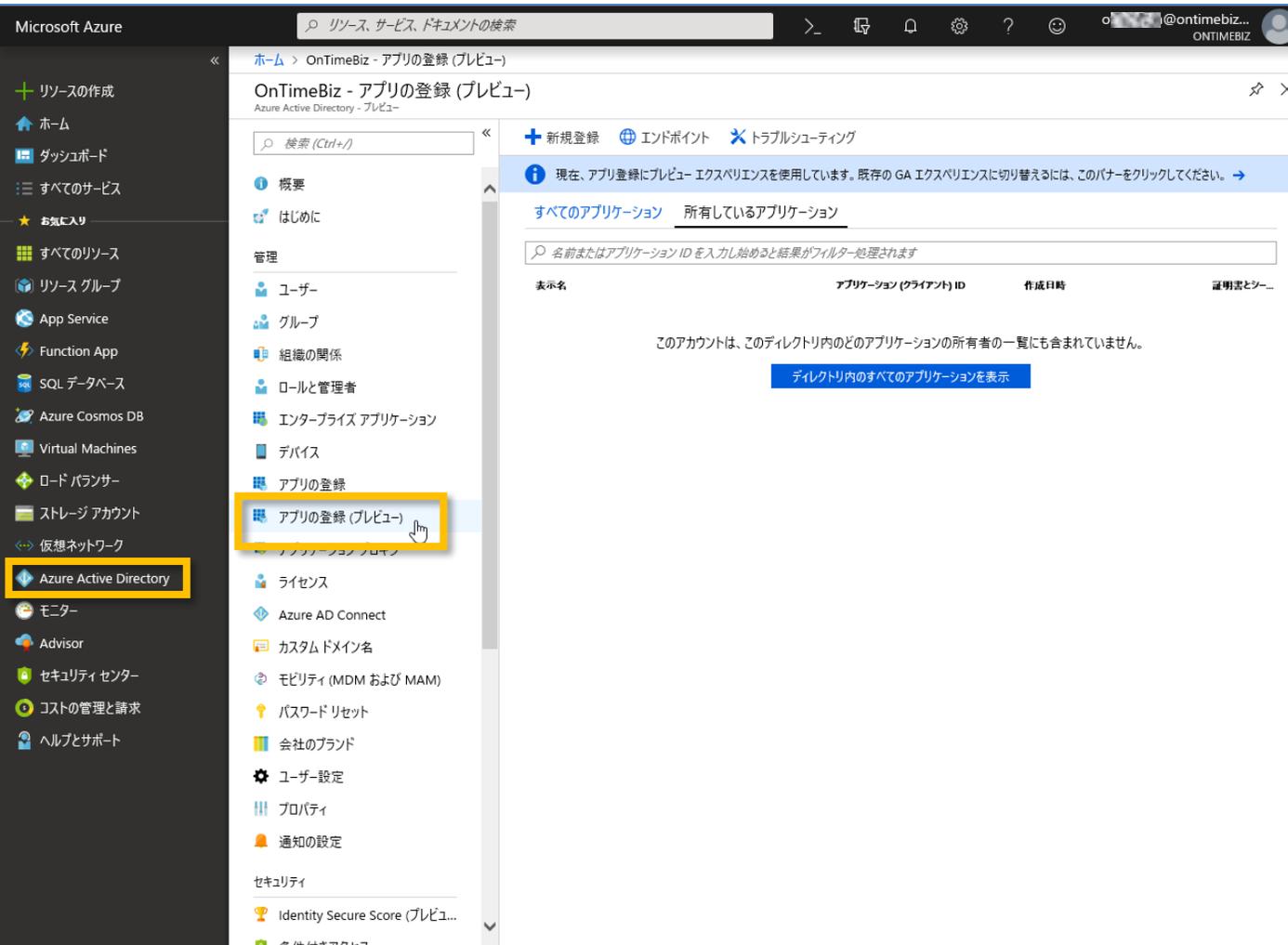
東京 一郎 tokyo@ontimedemo... 営業部

名古屋 二郎 nagoya@ontimedemo... 営業部

Teams meets OnTime

- OnTime for Microsoft Teamsは OnTime Group Calendar for Microsoft をお持ちであればフリーでご利用いただける機能です
- セットアップ手順は大きく4つです
 1. Azure ADでOnTimeをアプリとして登録します
 2. OnTime管理センターから接続してアクセス許可を確認します
 3. 連携用各種ファイルを準備します
 4. Microsoft Teamsストアでアプリとして登録します
- Microsoft Teams連携の仕様上、OnTimeサーバーは証明書を利用したhttps接続のみご利用可能です

Azure Portalでアプリの登録を行う 1



- Azure Portalに管理者でログインします
- Azure Portalから「Azure ADのアプリの登録(プレビュー)」を開きます

Azure Portalでアプリの登録を行う 2



Microsoft Azure

リソース、サービス、ドキュメントの検索

ホーム > OnTimeBiz - アプリの登録 (プレビュー)

OnTimeBiz - アプリの登録 (プレビュー)

Azure Active Directory - プレビュー

検索 (Ctrl+F)

+ 新規登録

エンドポイント

トラブルシューティング

現在、アプリ登録にプレビュー エクスプレィエンスを使用しています。既存の GA エクスプレィエンスに切り替えるには、このバナーをクリックしてください。 →

すべてのアプリケーション

所有しているアプリケーション

名前またはアプリケーション ID を入力し始めると結果がフィルター処理されます

表示名	アプリケーション (クライアント) ID	作成日時	証明書とシ...
このアカウントは、このディレクトリ内のどのアプリケーションの所有者の一覧にも含まれていません。			

ディレクトリ内のすべてのアプリケーションを表示

- 「アプリの登録(プレビュー)」で「新規登録」を押します



Azure Portalでアプリの登録を行う 3

Microsoft Azure

リソース、サービス、ドキュメントの検索

ホーム > OnTimeBiz - アプリの登録 (プレビュー) > アプリケーションの登録

アプリケーションの登録

名前

このアプリケーションのユーザー向け表示名 (後ほど変更できます)。

OnTimeApp

サポートされているアカウントの種類

このアプリケーションを使用したりこの API にアクセスしたりできるのはだれですか?

この組織のディレクトリ内のアカウントのみ (OnTimeBiz)

任意の組織のディレクトリ内のアカウント

任意の組織のディレクトリ内のアカウントと、個人用の Microsoft アカウント (Skype、Xbox、Outlook.com など)

選択に関する詳細...

リダイレクト URI (省略可能)

ユーザー認証が成功すると、この URI に認証応答を返します。この時点での指定は省略可能で、後ほど変更できますが、ほとんどの認証シナリオで値が必要となります。

Web

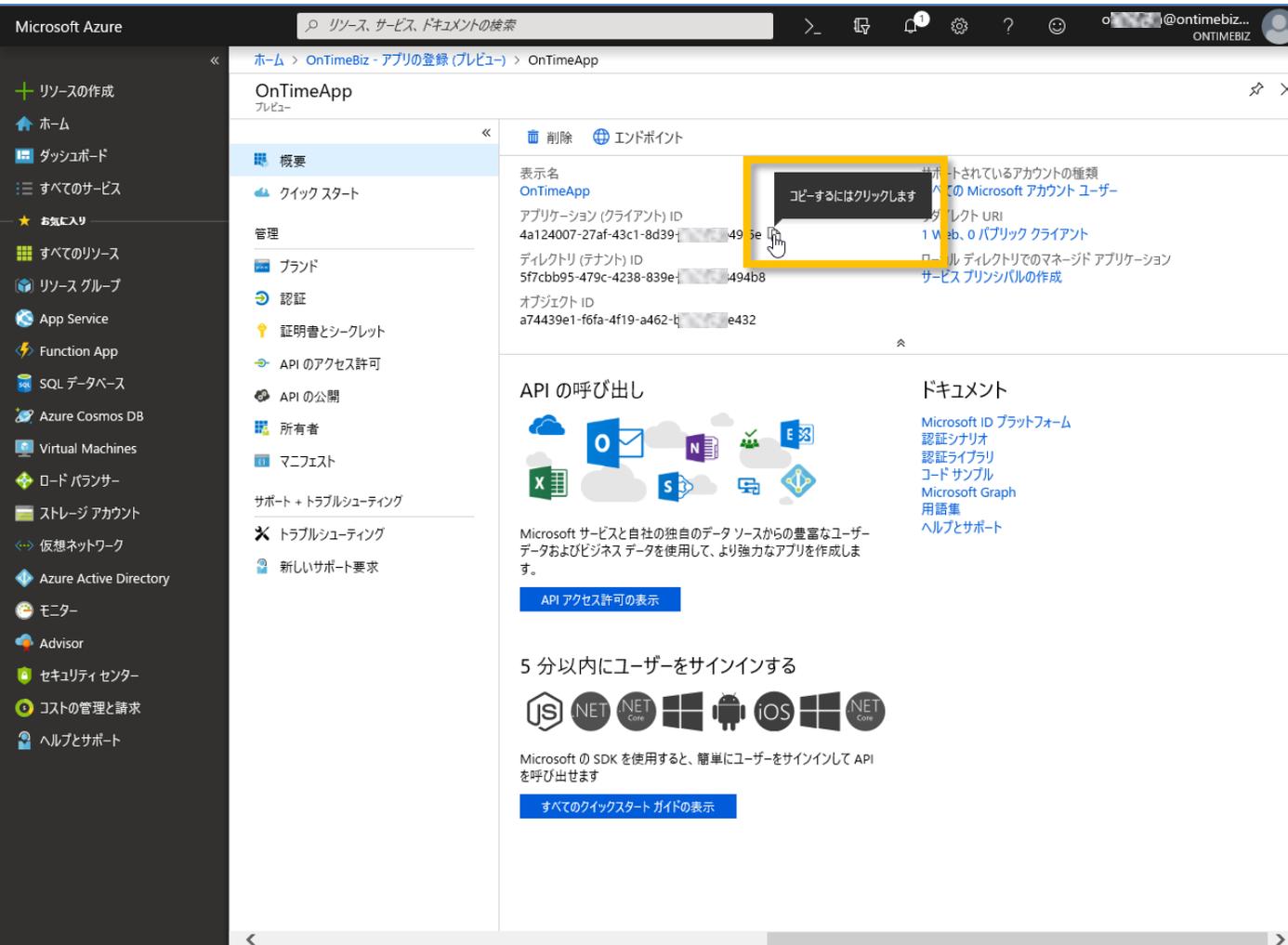
https://obiz.ontime.biz/ontimegcm s/code.html

続行すると、Microsoft プラットフォーム ポリシーに同意したことになります

登録

- 「名前」にはTeams上でもエンドユーザーには表示されない名前なので管理上識別し易い名前を入力します
- 「サポートされているアカウントの種類」は一番下の「任意の組織のディレクトリ内のアカウントと、個人用の Microsoft アカウント (Skype、Xbox、Outlook.com など)」を選択します
- 「リダイレクトURI」にはOnTimeが動作するホスト名とhtmlを指定します
「https://HOSTNAME/ontimegcm s/code.html」
HOSTNAMEは適宜組織のサーバーで書き換えて下さい
- 最後に「登録」をクリックします

Azure PortalでアプリケーションIDのコピー



- 画面が切り替わったら「アプリケーション(クライアント)ID」をコピーして保管します
- 「アプリケーション(クライアント)ID」は後ほどOnTime管理センターで登録時に利用しますので大切に保管します

Azure Portalで認証の設定を行う 1



- 「認証」タブに移動します
- 画面上ではトップに先ほど登録した「リダイレクトURI」が表示されています
- 画面下の「暗黙の付与」が表示されるまでスクロールします

Azure Portalで認証の設定を行う 2



Microsoft Azure

リソース、サービス、ドキュメントの検索

OnTimeApp - 認証

保存 破棄 Got feedback?

暗黙の付与

アプリケーションが承認エンドポイントからトークンを直接要求すること許可します。アプリケーションが Single Page Architecture (SPA) を備えている場合、バックエンド コンポーネントがない場合、JavaScript を使用して Web API を呼び出す場合にのみ推奨されます。

暗黙的な許可フローを有効にするには、承認エンドポイントが発行するトークンを選択してください。

アクセストークン

ID トークン

Live SDK サポート

Microsoft アカウント サービス (login.live.com) と直接統合できるようにします。Microsoft アカウント SDK (Xbox や Bing Ads など) との統合に必要です

はい いいえ

既定のクライアントの種類

アプリケーションは、パブリック クライアントとして扱います。リダイレクト URI が使用されていないフローを使用するのに必要です。

はい いいえ

- リソース所有者のパスワード資格情報 (ROPC) [詳細情報](#)
- デバイス コード フロー [詳細情報](#)
- 統合 Windows 認証 (IWA) [詳細情報](#)

サポートされているアカウントの種類

このアプリケーションを使用したりこの API にアクセスしたりできるのはだれですか?

- 任意の組織のディレクトリ内のアカウントと、個人用の Microsoft アカウント (Skype、Xbox、Outlook.com など)
職場または学校アカウント、個人用の Microsoft アカウントを持つすべてのユーザーは、アプリケーションや API を使用できます。これには、Office 365 のサブスクリイパーが含まれます。
- 既存の登録のサポート対象アカウントを変更するには、マニフェスト エディターを使用します。個人用アカウントでは特定のプロパティによってエラーが生じる可能性があるため、注意してください。

- 「暗黙の付与」では「アクセストークン」「IDトークン」の両方にチェックをつけます
- その他は変更せずに「保存」をクリックします

Azure Portalでクライアントシークレットの作成 1



Microsoft Azure

リソース、サービス、ドキュメントの検索

ホーム > OnTimeBiz - アプリの登録 (プレビュー) > OnTimeApp - 証明書とシークレット

OnTimeApp - 証明書とシークレット

概要

管理

証明書とシークレット

証明書

証明書は、トークンの要求時にアプリケーションの ID を証明するシークレットとして使用できます。公開キーとも呼ばれます。

証明書のアップロード

署名	開始日	有効期限
このアプリケーションには証明書が追加されていません。		

クライアント シークレット

トークンの要求時にアプリケーションが自身の ID を証明するために使用する秘密の文字列です。アプリケーション パスワードと呼ばれることもあります。

新しいクライアント シークレット

説明	有効期限	値
このアプリケーションのクライアント シークレットは作成されていません。		

- 「証明書とシークレット」タブをクリックします
- こちらはOnTimeサーバーがアクセスする際自身のIDを証明する為の「クライアントシークレット」を作成します
- 「クライアントシークレット」は「アプリケーションパスワード」と呼ばれることもあります

Azure Portalでクライアントシークレットの作成 2



The screenshot shows the Azure Portal interface for an application named 'OnTimeApp'. The left sidebar contains navigation options like 'リソースの作成', 'ダッシュボード', and '証明書とシークレット'. The main content area is titled 'OnTimeApp - 証明書とシークレット' and includes sections for '証明書' (Certificates) and 'クライアントシークレット' (Client Secrets). In the 'クライアントシークレット' section, a button labeled '+ 新しいクライアントシークレット' is highlighted with a yellow box, indicating the next step in the process.

- 「新しいクライアントシークレット」をクリックします

Azure Portalでクライアントシークレットの作成 3



- 「クライアントシークレットの追加」ダイアログが開きます
- 「説明」には識別しやすい名前を入力します
- 「有効期限」は「なし」を選択します
- 内容がよろしければ「追加」ボタンをクリックします

Azure Portalでクライアントシークレットのコピー



新しいクライアント シークレット値をコピーしてください。このプレードから移動した後は、シークレット値を取得できなくなります。

資格情報は、Web アドレスの指定が可能な場所で (HTTPS スキーマを使用して) トークンを受信する際に、アプリケーションが認証サービスに対して自身を識別できるようにするためのものです。より高いレベルで保証するには、資格情報として (クライアント シークレットではなく) 証明書を使うことをお勧めします。

証明書

証明書は、トークンの要求時にアプリケーションの ID を証明するシークレットとして使用できます。公開キーとも呼ばれます。

証明書のアップロード

署名	開始日	有効期限
このアプリケーションには証明書が追加されていません。		

クライアント シークレット

トークンの要求時にアプリケーションが自身の ID を証明するために使用する秘密の文字列です。アプリケーション パスワードと呼ばれることもあります。

新しいクライアント シークレット

説明	有効期限	値
説明なしで大丈夫	2299年12月3...	Mwoj...

コピーするにはクリックします

- 先ほどの画面上に作成した「クライアントシークレット」が表示されています
- 「値」をコピーして保管します
- 「値」はこのタイミングでコピーしないと二度と取得出来ないのをご注意下さい
- 「値」は後ほどOnTime管理センターで登録時に利用しますので大切に保管します

Azure PortalでAPIのアクセス許可を設定 1



Microsoft Azure

リソース、サービス、ドキュメントの検索

OnTimeApp - API のアクセス許可

API のアクセス許可

アプリケーションが API を使用する承認を得るには、アクセス許可を要求します。これらのアクセス許可は、同意を得るプロセスの間に表示され、ユーザーがアクセスを許可/拒否する機会が与えられます。

+ アクセス許可の追加

API / アクセス許可の名前	種類	説明	管理者の同意が必要
Microsoft Graph (1)			
User.Read	委任済み	Sign in and read user profile	-

これらは、このアプリケーションが静的に要求するアクセス許可です。コードを使用して、ユーザーの同意が可能なアクセス許可を動的に要求することもできます。 [アクセス許可を要求するためのベスト プラクティスを参照する](#)

同意する

管理者は、このディレクトリのすべてのユーザーに代わり同意を与えることができます。すべてのユーザーに管理者の同意を与えると、エンドユーザーが対象アプリケーションを使用するときに、同意画面が表示されなくなります。

OnTimeBiz に管理者の同意を与えます

- 「APIのアクセス許可」タブに移動します
- こちらはOnTimeサーバーがAzureADにアクセスする内容を定義します
- 「Microsoft Graph(1)」をクリックします

Azure PortalでAPIのアクセス許可を設定 2



API アクセス許可の要求
プレビュー

Microsoft Graph
https://graph.microsoft.com/ [ドキュメント](#)

アプリケーションに必要なアクセス許可の種類

委任されたアクセス許可
アプリケーションは、サインインしたユーザーとして API にアクセスする必要があります。

アプリケーションの許可
アプリケーションは、サインインしたユーザーなしで、バックグラウンドサービスまたはデーモンとして実行されます。

アクセス許可を選択する [すべて展開](#)

検索するテキストを入力

アクセス許可	管理者の同意が必要
<input type="checkbox"/> email View users' email address ⓘ	-
<input type="checkbox"/> offline_access Maintain access to data you have given it access to ⓘ	-
<input type="checkbox"/> openid Sign users in ⓘ	-
<input type="checkbox"/> profile View users' basic profile ⓘ	-
▶ AccessReview	
▶ AgreementAcceptance	
▶ Agreement	
▶ Analytics	
▶ AppCatalog	
▶ AuditLog	
▶ BookingsAppointment	
▶ Bookings	
▶ Calendars	

アクセス許可の更新 破棄

- アプリケーションに必要なアクセス許可の種類にある「委任されたアクセス許可」と「アプリケーションの許可」から「委任されたアクセス許可」を選択します

Azure PortalでAPIのアクセス許可を設定 3



The screenshot shows the Azure Portal interface for configuring API permissions. The left sidebar contains navigation options like 'リソースの作成', 'ホーム', 'ダッシュボード', and 'API のアクセス許可'. The main content area is titled 'API アクセス許可の要求' and lists various permissions under the 'User' category. The 'User.Read' permission is highlighted with a yellow box, and its checkbox is checked. Below the list are buttons for 'アクセス許可の更新' and '破棄'.

許可	説明	状態
<input type="checkbox"/> User.Export.All	Export user's data	はい
<input type="checkbox"/> User.Invite.All	Invite guest users to the organization	はい
<input checked="" type="checkbox"/> User.Read	Sign in and read user profile	-
<input type="checkbox"/> User.Read.All	Read all users' full profiles	はい
<input type="checkbox"/> User.ReadBasic.All	Read all users' basic profiles	-
<input type="checkbox"/> User.ReadWrite	Read and write access to user profile	-
<input type="checkbox"/> User.ReadWrite.All	Read and write all users' full profiles	はい

- 画面を下までスクロールして「User」カテゴリの「User.Read」に移動します
- 予めついていたチェックを外します

Azure PortalでAPIのアクセス許可を設定 4



The screenshot shows the Azure Portal interface for configuring API access permissions. The left sidebar contains navigation options like 'リソースの作成', 'ダッシュボード', and 'API のアクセス許可'. The main content area is titled 'API アクセス許可の要求' and includes a search bar, a list of permissions, and a 'すべて展開' button. The 'offline_access' permission is highlighted with a yellow box, indicating it should be selected.

アクセス許可	管理者の同意が必要
<input type="checkbox"/> email View users' email address ⓘ	-
<input checked="" type="checkbox"/> offline_access Maintain access to data you have given it access to ⓘ	-
<input type="checkbox"/> openid Sign users in ⓘ	-
<input type="checkbox"/> profile View users' basic profile ⓘ	-

- 画面をスクロールして上まで戻ります
- 「offline.access」にチェックを付けます

Azure PortalでAPIのアクセス許可を設定 5



Microsoft Azure

リソース、サービス、ドキュメントの検索

OnTimeBiz - アプリの管理

API アクセス許可の要求

Microsoft Graph
https://graph.microsoft.com/ [ドキュメント](#)

アプリケーションに必要なアクセス許可の種類

委任されたアクセス許可
アプリケーションは、サインインしたユーザーとして API にアクセスする必要があります。

アプリケーションの許可
アプリケーションは、サインインしたユーザーなしで、バックグラウンドサービスまたはデーモンとして実行されます。

アクセス許可を選択する

検索するテキストを入力

アクセス許可 管理者の同意が必要

- ▶ AccessReview
- ▶ Application
- ▶ AuditLog
- ▶ Calendars
- ▶ Calls
- ▶ ChannelMessage
- ▶ Chat
- ▶ Contacts
- ▶ Device
- ▶ Directory
- ▶ Domain
- ▶ EduAdministration
- ▶ EduAssignments
- ▶ EduCenter

アクセス許可の更新 破棄

- アプリケーションに必要なアクセス許可の種類にある「委任されたアクセス許可」と「アプリケーションの許可」から「アプリケーションの許可」を選択します

Azure PortalでAPIのアクセス許可を設定 6



API アクセス許可の要求
プレビュー

Microsoft Graph
https://graph.microsoft.com/ [ドキュメント](#)

アプリケーションに必要なアクセス許可の種類

委任されたアクセス許可
アプリケーションは、サインインしたユーザーとして API にアクセスする必要があります。

アプリケーションの許可
アプリケーションは、サインインしたユーザーなしで、バックグラウンド サービスまたはデーモンとして実行されます。

アクセス許可を選択する [すべて展開](#)

検索するテキストを入力

アクセス許可	管理者の同意が必要
▶ AccessReview	
▶ Application	
▶ AuditLog	
▶ Calendars	
▶ Calls	
▶ ChannelMessage	
▶ Chat	
▶ Contacts	
▶ Device	
▼ Directory (1)	
<input checked="" type="checkbox"/> Directory.Read.All Read directory data ⓘ	はい
<input type="checkbox"/> Directory.ReadWrite.All Read and write directory data ⓘ	はい
▶ Domain	

[アクセス許可の更新](#) [破棄](#)

- 画面下部の「Directory」カテゴリの「Directory.Read.All」を見つけます
- 「Directory.Read.All」にチェックを付けます

Azure PortalでAPIのアクセス許可を設定 7



Microsoft Azure

リソース、サービス、ドキュメントの検索

OnTimeBiz - アプリの管理

API アクセス許可の要求

Microsoft Graph
https://graph.microsoft.com/ ドキュメント

アプリケーションに必要なアクセス許可の種類

委任されたアクセス許可
アプリケーションは、サインインしたユーザーとして API にアクセスする必要があります。

アプリケーションの許可
アプリケーションは、サインインしたユーザーなしで、バックグラウンド サービスまたはデーモンとして実行されます。

アクセス許可を選択する

検索するテキストを入力

アクセス許可 管理者の同意が必要

- AccessReview
- Application
- AuditLog
- Calendars
- Calls
- ChannelMessage
- Chat
- Contacts
- Device
- Directory (1)
 - Directory.Read.All
Read directory data はい
 - Directory.ReadWrite.All
Read and write directory data はい
- Domain

アクセス許可の更新 破棄

- 「アクセス許可の更新」をクリックします

Azure Portalでアクセス許可に管理者で同意 1



Microsoft Azure

リソース、サービス、ドキュメントの検索

ホーム > OnTimeBiz - アプリの登録 (プレビュー) > OnTimeApp - API のアクセス許可

OnTimeApp - API のアクセス許可

API のアクセス許可が変更されました。ユーザーまたは管理者 (あるいはその両方) が、以前に同意した場合であっても同意を行う必要があります。

API のアクセス許可

アプリケーションが API を使用する承認を得るには、アクセス許可を要求します。これらのアクセス許可は、同意を得るプロセスの間に表示され、ユーザーがアクセスを許可/拒否する機会が与えられます。

+ アクセス許可の追加

API / アクセス許可の名前	種類	説明	管理者の同意が必要
▼ Microsoft Graph (2)			
Directory.Read.All	アプリケーション	Read directory data	はい ⚠ OnTimeBiz に付与さ...
offline_access	委任済み	Maintain access to data you have given it...	-

これは、このアプリケーションが静的に要求するアクセス許可です。コードを使用して、ユーザーの同意が可能なアクセス許可を動的に要求することもできます。 [アクセス許可を要求するためのベスト プラクティスを参照する](#)

同意する

管理者は、このディレクトリのすべてのユーザーに代わり同意を与えることができます。すべてのユーザーに管理者の同意を与えると、エンドユーザーが対象アプリケーションを使用するときに、同意画面が表示されなくなります。

OnTimeBizに管理者の同意を与えます

- 「APIのアクセス許可」の内容が左図のように設定した内容に変更されていることを確認します
- 表示が違う場合は管理者にご相談ください
- 確認出来たら画面下の「[組織]に管理者の同意を与えます」をクリックします

Azure Portalでアクセス許可に管理者で同意 2



Microsoft Azure

リソース、サービス、ドキュメントの検索

ホーム > OnTimeBiz - アプリの登録 (プレビュー) > OnTimeApp - API のアクセス許可

OnTimeApp - API のアクセス許可

OnTimeBiz のすべてのアカウントについて、要求されたアクセス許可に対する同意を付与しますか? この操作により、このアプリケーションが既に持っている既存の管理者の同意レコードが、以下の一覧の内容に一致するよう更新されます。

はい いいえ

+ アクセス許可の追加

API / アクセス許可の名前	種類	説明	管理者の同意が必要
▼ Microsoft Graph (2)			
Directory.Read.All	アプリケーション	Read directory data	はい ⚠ OnTimeBiz に付与さ...
offline_access	委任済み	Maintain access to data you have given it...	-

これは、このアプリケーションが静的に要求するアクセス許可です。コードを使用して、ユーザーの同意が可能なアクセス許可を動的に要求することもできます。 [アクセス許可を要求するためのベスト プラクティスを参照する](#)

同意する

管理者は、このディレクトリのすべてのユーザーに代わり同意を与えることができます。すべてのユーザーに管理者の同意を与えると、エンドユーザーが対象アプリケーションを使用するときに、同意画面が表示されなくなります。

OnTimeBiz に管理者の同意を与えます

- 再確認のダイアログボックスが表示されるので「はい」を押して更新します

Azure Portalでアクセス許可に管理者で同意 3



Microsoft Azure

リソース、サービス、ドキュメントの検索

OnTimeApp - API のアクセス許可

OnTimeApp - API のアクセス許可

概要

API のアクセス許可

API が使用する承認を得るには、アクセス許可を要求します。これらのアクセス許可は、同意を得るプロセスの間に表示され、ユーザーがアクセスを許可/拒否する機会が与えられます。

+ アクセス許可の追加

API / アクセス許可の名前	種類	説明	管理者の同意が必要
▼ Microsoft Graph (2)			
Directory.Read.All	アプリケーション	Read directory data	はい ⚠ OnTimeBiz に付与さ...
offline_access	委任済み	Maintain access to data you have given it...	-

これは、このアプリケーションが静的に要求するアクセス許可です。コードを使用して、ユーザーの同意が可能なアクセス許可を動的に要求することもできます。 [アクセス許可を要求するためのベスト プラクティスを参照する](#)

同意する

管理者は、このディレクトリのすべてのユーザーに代わり同意を与えることができます。すべてのユーザーに管理者の同意を与えると、エンドユーザーが対象アプリケーションを使用するときに、同意画面が表示されなくなります。

OnTimeBiz に管理者の同意を与えます

- 正常に付与されたメッセージを確認します
- メッセージが違う場合は管理者にご相談ください

Azure Portalでアクセス許可に管理者で同意 4



- 同意はすぐには反映しませんので「通知」で更新の実行状態を確認出来ます

Azure Portalでアクセス許可に管理者で同意 5



Microsoft Azure

リソース、サービス、ドキュメントの検索

OnTimeBiz - アプリの登録 (プレビュー) > OnTimeApp - API のアクセス許可

OnTimeApp - API のアクセス許可

API のアクセス許可

アプリケーションが API を使用する承認を得るには、アクセス許可を要求します。これらのアクセス許可は、同意を得るプロセスの間に表示され、ユーザーがアクセスを許可/拒否する機会が与えられます。

+ アクセス許可の追加

API / アクセス許可の名前	種類	説明	管理者の同意が必要
▼ Microsoft Graph (2)			
Directory.Read.All	アプリケーション	Read directory data	はい <input checked="" type="checkbox"/> OnTimeBiz に付与さ...
offline_access	委任済み	Maintain access to data you have given it...	<input checked="" type="checkbox"/> OnTimeBiz に付与さ...

これは、このアプリケーションが静的に要求するアクセス許可です。コードを使用して、ユーザーの同意が可能なアクセス許可を動的に要求することもできます。 [アクセス許可を要求するためのベスト プラクティスを参照する](#)

同意する

管理者は、このディレクトリのすべてのユーザーに代わり同意を与えることができます。すべてのユーザーに管理者の同意を与えると、エンドユーザーが対象アプリケーションを使用するときに、同意画面が表示されなくなります。

OnTimeBiz に管理者の同意を与えます

- 更新が完了するとアクセス許可が付与されたことが確認出来ます
- Azure Portalでの作業はこれで完了です

OnTime管理センターでアプリ登録します 1



The screenshot shows the OnTime management center interface. The top navigation bar is blue with the OnTime logo and a settings gear icon. The left sidebar contains a list of menu items: ONTIME 管理センター, ダッシュボード, データベース設定, グローバル設定, ドメイン, ユーザー設定, グループ設定, 凡例, 日程調整, and MS TEAMS (highlighted with a yellow box). The main content area is titled 'MS TEAMS セットアップ' and includes instructions: 'ドメイン毎に上の「アプリケーション登録」から取得した「アプリケーションID」と「パスワード」をドメイン名の隣に貼り付け「承認とコード取得」をクリックして認証します。'. Below the instructions are two input fields: 'アプリケーションID' (containing 'obiz') and 'パスワード'. A '承認とコード取得' button is located to the right of the password field.

- OnTime管理センターにログインして「MS TEAMS」タブに移動します
- OnTimeで登録しているテナント(もしくはドメイン)すべての設定行が表示されています

OnTime管理センターでアプリ登録します 2



OnTime®

ONTIME 管理センター

保存 キャンセル アプリケーション登録

MS TEAMS セットアップ

ドメイン毎に上の「アプリケーション登録」から取得した「アプリケーションID」と「パスワード」をドメイン名の隣に貼り付け「承認とコードを取得」をクリックして認証します。

アプリケーションID	パスワード
16376399-7175-4e15-9088-8b5a	[masked]

承認とコード取得

obiz

ダッシュボード

データベース設定

グローバル設定

ドメイン

ユーザー設定

グループ設定

凡例

日程調整

MS TEAMS

- Microsoft TeamsでOnTimeを利用予定のドメインの行に先ほどのAzure Portalの作業で保存した「アプリケーション(クライアント)ID」と「クライアントシークレット(アプリケーションパスワード)」を設定します

OnTime管理センターでアプリ登録します 3



OnTime®

ONTIME 管理センター

保存 キャンセル アプリケーション登録

MS TEAMS セットアップ

ドメイン毎に上の「アプリケーション登録」から取得した「アプリケーションID」と「パスワード」をドメイン名の隣に貼り付け「承認とコードを取得」をクリックして認証します。

	アプリケーションID	パスワード	
obiz	16376399-7175-4e15-9088-  b5a	[[S>a  yf	承認とコード取得

- 「保存」をクリックします

OnTime管理センターからアクセス許可を確認 1



OnTime®

ONTIME 管理センター

保存 キャンセル アプリケーション登録

MS TEAMS セットアップ

ドメイン毎に上の「アプリケーション登録」から取得した「アプリケーションID」と「パスワード」をドメイン名の隣に貼り付け「承認とコード取得」をクリックして認証します。

	アプリケーションID	パスワード
obiz	16376399-7175-4e15-9088-8[redacted]b5a	[[S>a[redacted]ryf

承認とコード取得

- 「アクセス許可の承諾」をクリックします

OnTime管理センターからアクセス許可を確認 2

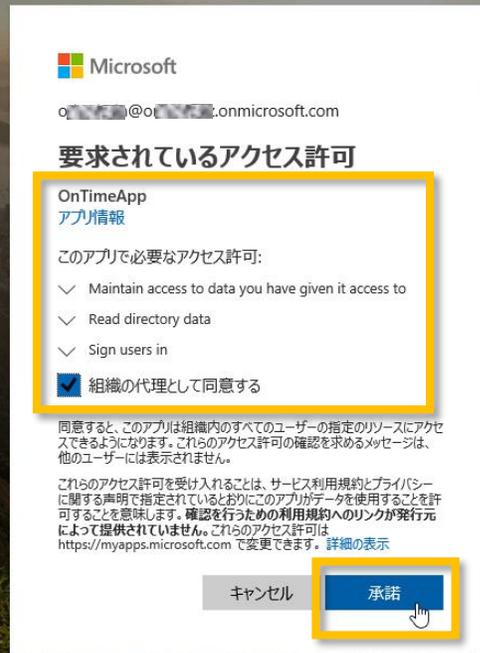


- Azure環境にアクセスするためのアカウントの選択を要求されますので管理者を選択します



©2019 Microsoft 利用規約 プライバシーと Cookie ...

OnTime管理センターからアクセス許可を確認 3

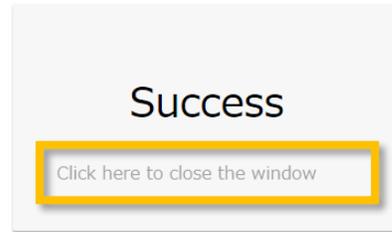


- アクセス許可の承諾画面が表示されます
- 「組織の代理として同意する」にチェックをいれて「承諾」ボタンをクリックします

OnTime管理センターからアクセス許可を確認 4



OnTime®



- OnTimeからのアクセスが成功したら左図のような画面が表示されます
- 表示されたらWindowsを閉じてください
- メッセージが違う場合は管理者にご相談ください

OnTime管理センターからアクセス許可を確認 5



OnTime®

ONTIME 管理センター

保存 キャンセル アプリケーション登録

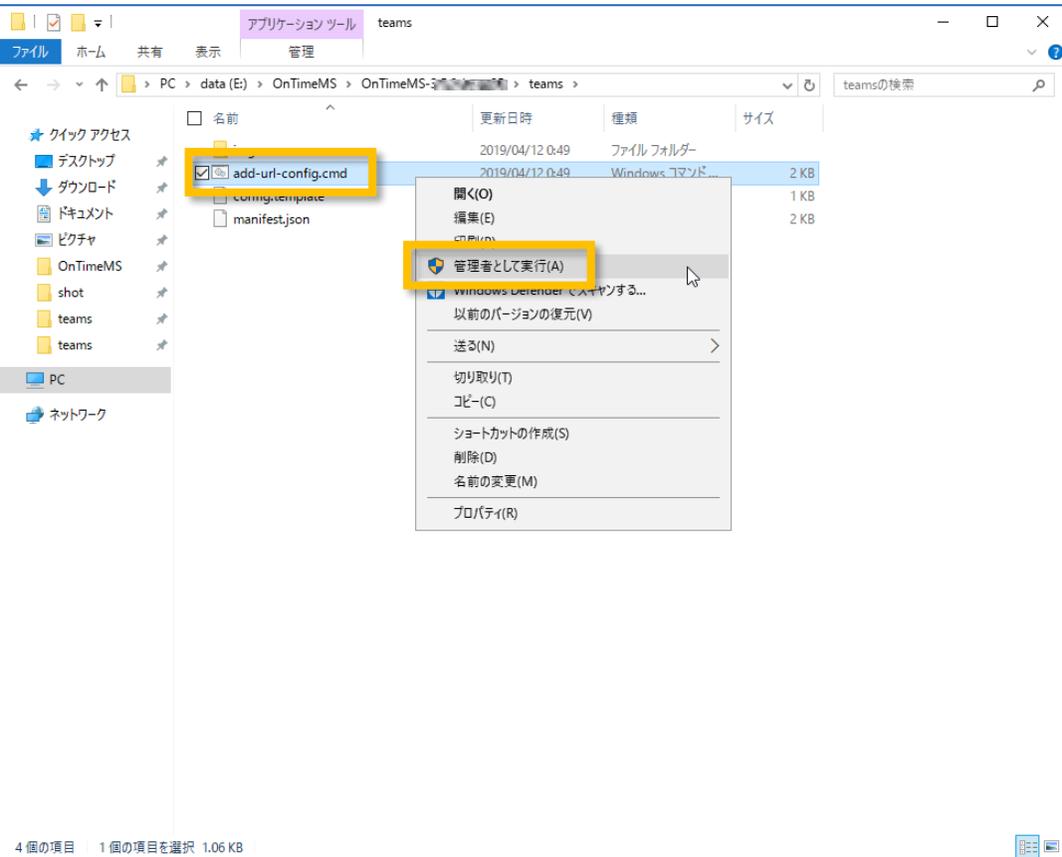
MS TEAMS セットアップ

ドメイン毎に上の「アプリケーション登録」から取得した「アプリケーションID」と「パスワード」をドメイン名の隣に貼り付け「承認とコード取得」をクリックして認証します。

ドメイン	アプリケーションID	パスワード	操作
obiz	16376399-7175-4e15-9088-8b5a	[[S>a...ryf	承認とコード取得 承認済

- OnTime管理センターで画面をリフレッシュすると設定を行っているドメインの右端に「承認済」と表示されます
- 表示が違う場合は管理者にご相談ください
- OnTime管理センターでの作業はこれで完了です

OnTime側のconfig.htmlファイルを登録 1



- Microsoft Teamsのアプリ登録画面用のconfig.htmlファイルを生成します
- ダウンロードしたOnTimeプログラムの展開したフォルダ内の「teams」フォルダに移動します
- フォルダ内の「add-url-config.cmd」をマウス右ボタンメニューから「管理者として実行」をクリックします

OnTime側のconfig.htmlファイルを登録 2



```
管理: C:\windows\System32\cmd.exe
OnTime Teams configuration
Please enter the OnTime server name for example ontime.acme.com
OnTime server name: obiz.ontime.biz_
```

- コマンドプロンプトが開き、OnTimeサーバーのホスト名を要求されます
- 左図のようにホスト名を入力してエンターします

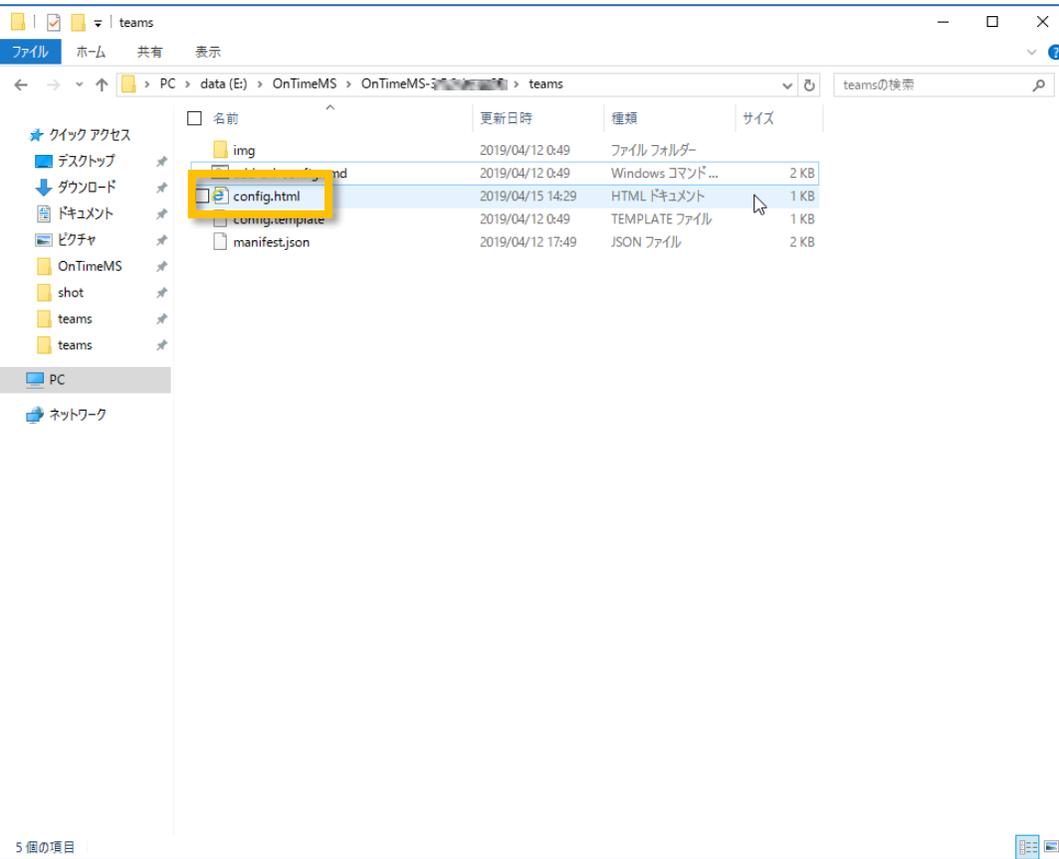
OnTime側のconfig.htmlファイルを登録 3



```
管理: C:\windows\System32\cmd.exe
OnTime Teams configuration
Please enter the OnTime server name for example ontime.acme.com
OnTime server name: obiz.ontime.biz
File config.html was created
E:\config.html
1 個のファイルをコピーしました
File copy saved in OnTimeGCMS folder
E:\config.html
1 個のファイルをコピーしました
File copy saved in Tomcat webapps folder
実行するには何かキーを押してください . . . . .
```

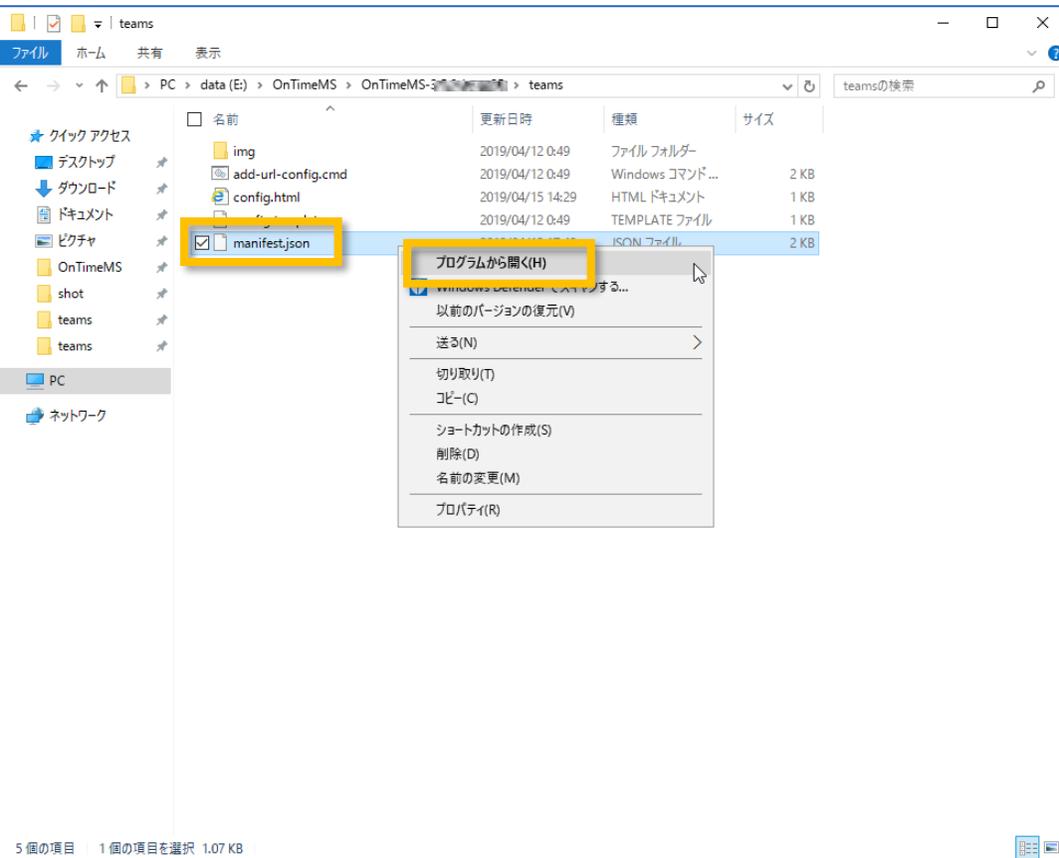
- 画面の通りこのフォルダと共にTomcatのwebapps/teamsに保存されます
- メッセージの通り何かキーを押してコマンドプロンプトを閉じます

OnTime側のconfig.htmlファイルを登録 4



- フォルダ内にconfig.htmlファイルが作成されています

Teamsストアのアプリ登録用zipファイルの作成 1



- Microsoft Teamsのストアのアプリ登録用のzipファイルを作成します
- 同じく「teams」フォルダで作業します
- フォルダ内の「manifest.json」をテキストエディターで編集します
本マニュアルではメモ帳を使用します

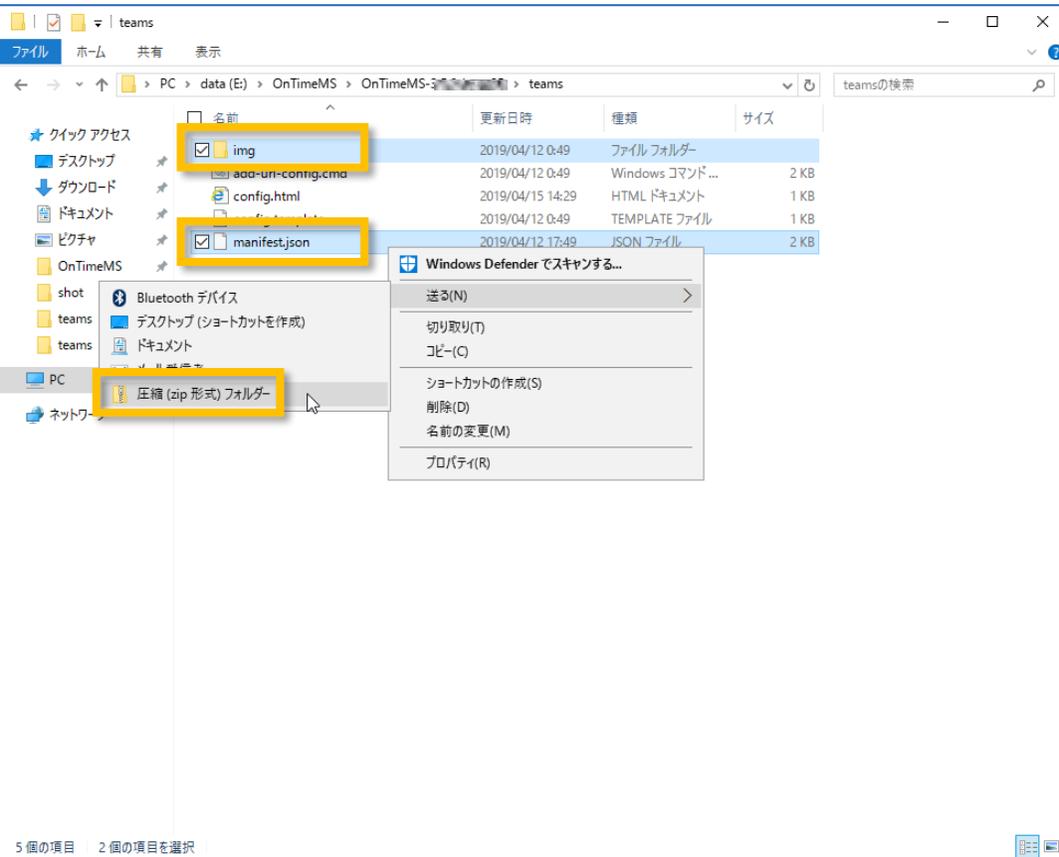
Teamsストアのアプリ登録用zipファイルの作成 2



```
manifest.json - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
{
  "$schema": "https://developer.microsoft.com/en-us/json-schemas/teams/v1.3/MicrosoftTeams.schema.json",
  "manifestVersion": "1.3",
  "version": "1.0.1",
  "id": "c8130cc8-ee50-497d-849f-732fd9b22f3b",
  "packageName": "com.microsoft.teams.ontime",
  "developer": {
    "name": "IntraVision",
    "websiteUrl": "https://www.ontimesuite.com",
    "privacyUrl": "https://www.ontimesuite.com/privacy",
    "termsOfUseUrl": "https://www.ontimesuite.com/termsfuse"
  },
  "icons": {
    "color": "img/ontime-192.png",
    "outline": "img/ontime-32.png"
  },
  "name": {
    "short": "OnTime",
    "full": "OnTime"
  },
  "description": {
    "short": "Opens OnTime calendar with current team members.",
    "full": "Opens OnTime calendar with current team members."
  },
  "accentColor": "#FFFFFF",
  "permissions": ["identity"],
  "validDomains": [
    "*.ontimesuite.com",
    "*.ontimesuite.com",
    "*.ontime.biz"
  ],
  "configurableTabs": [
    {
      "configurationUrl": "https://obiz.ontime.biz/teams/config.html",
      "scopes": ["team"]
    }
  ]
}
```

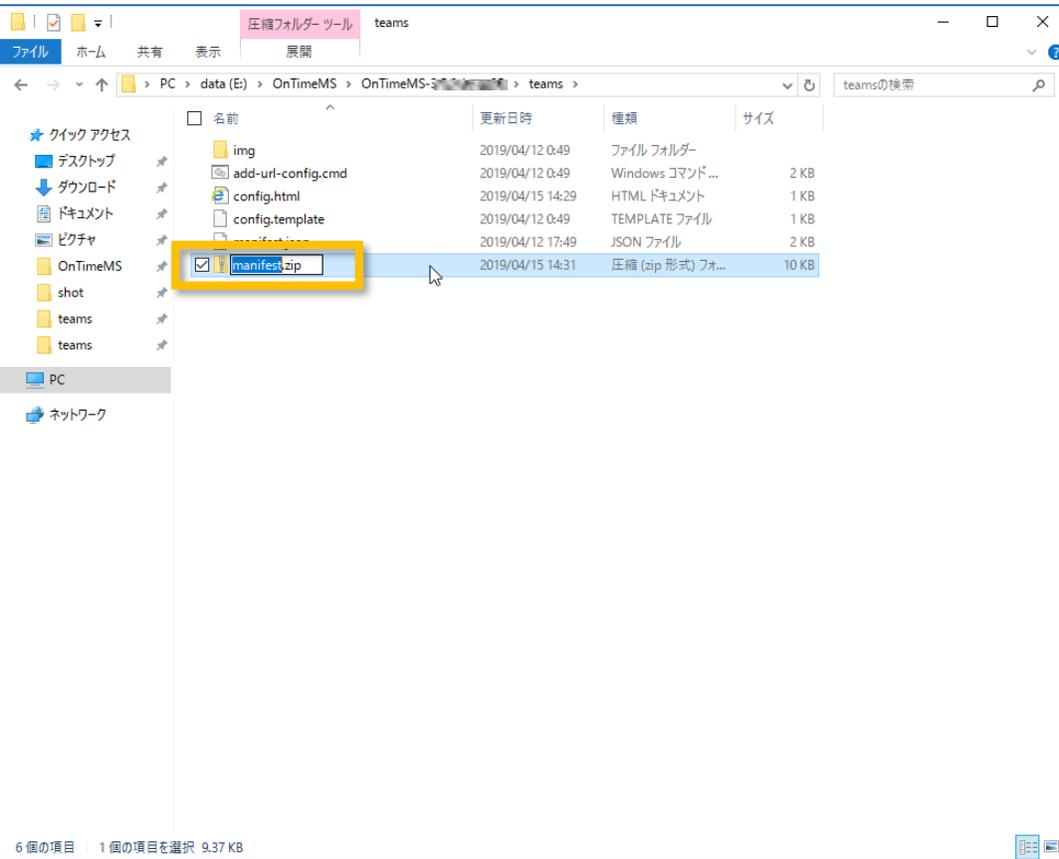
- 左図のように「validDomains」の最後のドメインをOnTimeにアクセスするテナント(ドメイン)を指定します
ontime.bizからアクセスするため
"*.ontime.biz"と設定します
- 「configurableTabs」には先ほど作成したconfig.htmlファイルを指定しますのでHOST名だけデフォルト値から修正します
接続するOnTimeサーバーがobiz.ontime.bizなので
"https://obiz.ontime.biz/teams/config.html"と設定します
- 両編集後にファイルをそのまま保存します

Teamsストアのアプリ登録用zipファイルの作成 3



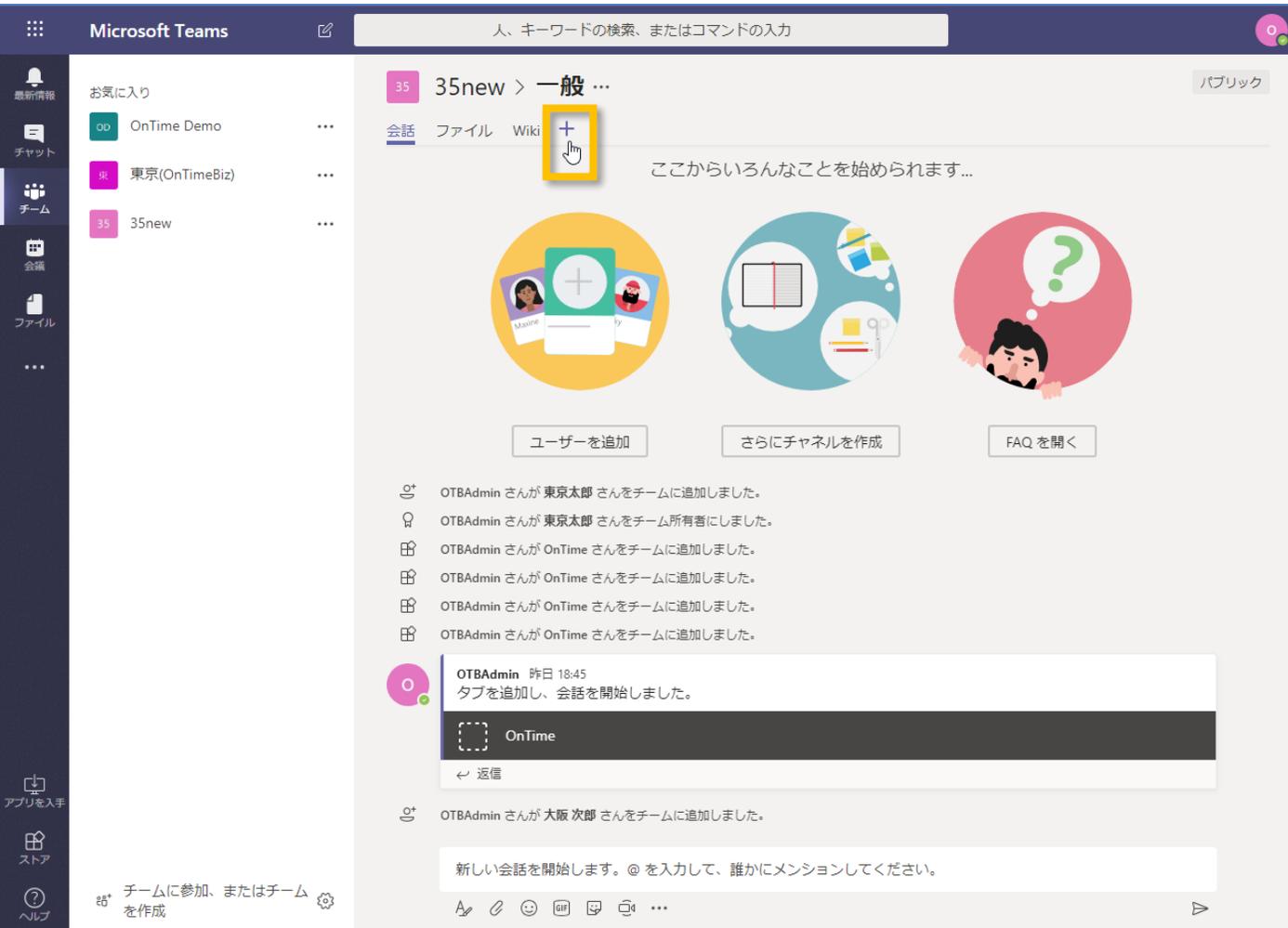
- 保存した「manifest.json」ファイルと「img」フォルダをまとめたzipファイルを作成します
- 画面上では上記二つを選択した状態からマウス右ボタンで「送る」「圧縮(zip形式)フォルダ」を選択実行します

Teamsストアのアプリ登録用zipファイルの作成 4



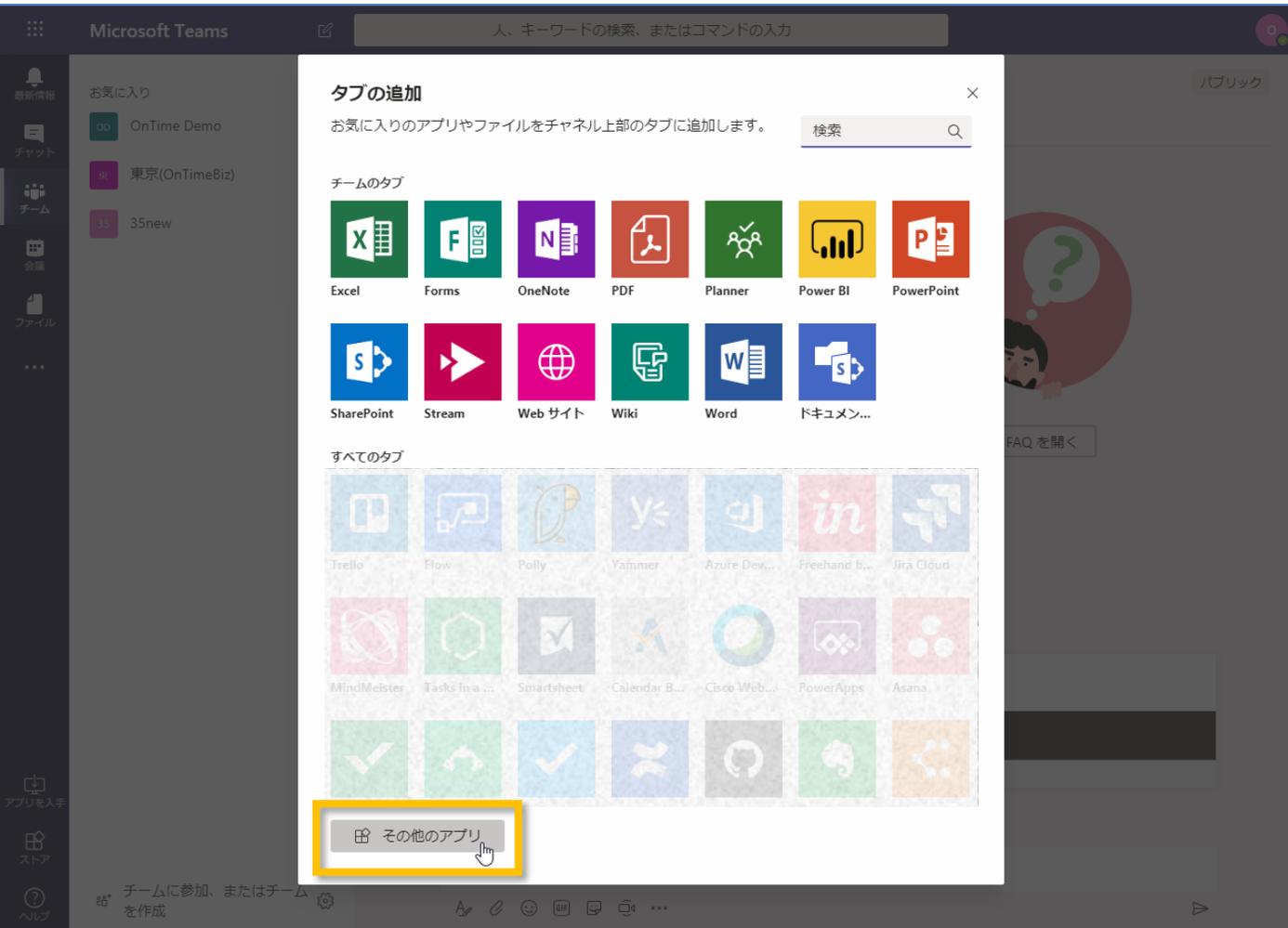
- 名前は自由に設定してください
本マニュアルでは「manifest.zip」です
- 出来上がったzipファイルは次に行う
Microsoft Teamsストアへ登録する
作業で使用しますので保管しておきま
す

Teamsストアへアプリの新規登録 1



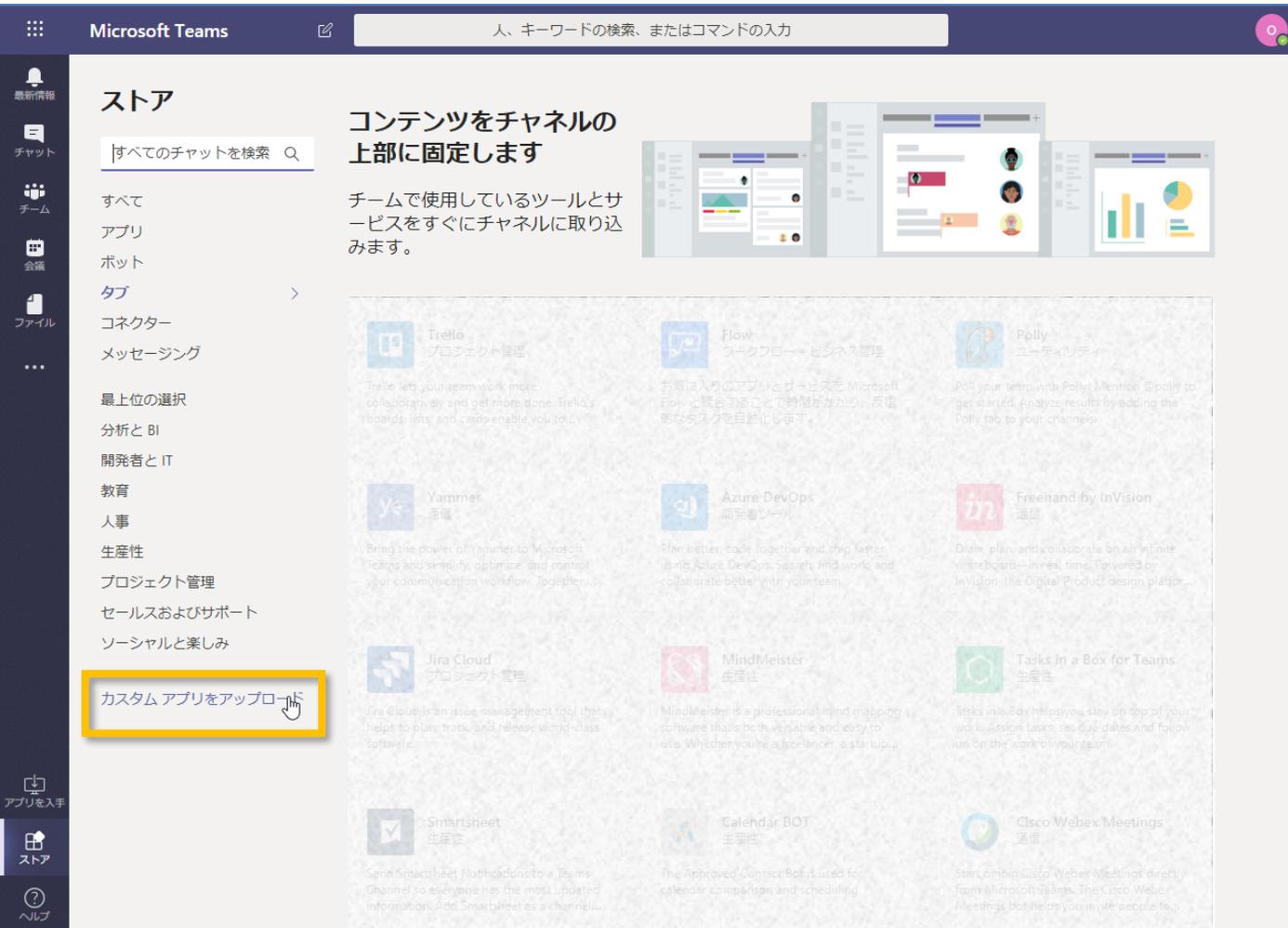
- 管理者にてMicrosoft Teamsを開きます
- 予定しているチームを開きタブ追加「+」をクリックします
- 作業はChromeをお勧めします

Teamsストアへアプリの新規登録 2



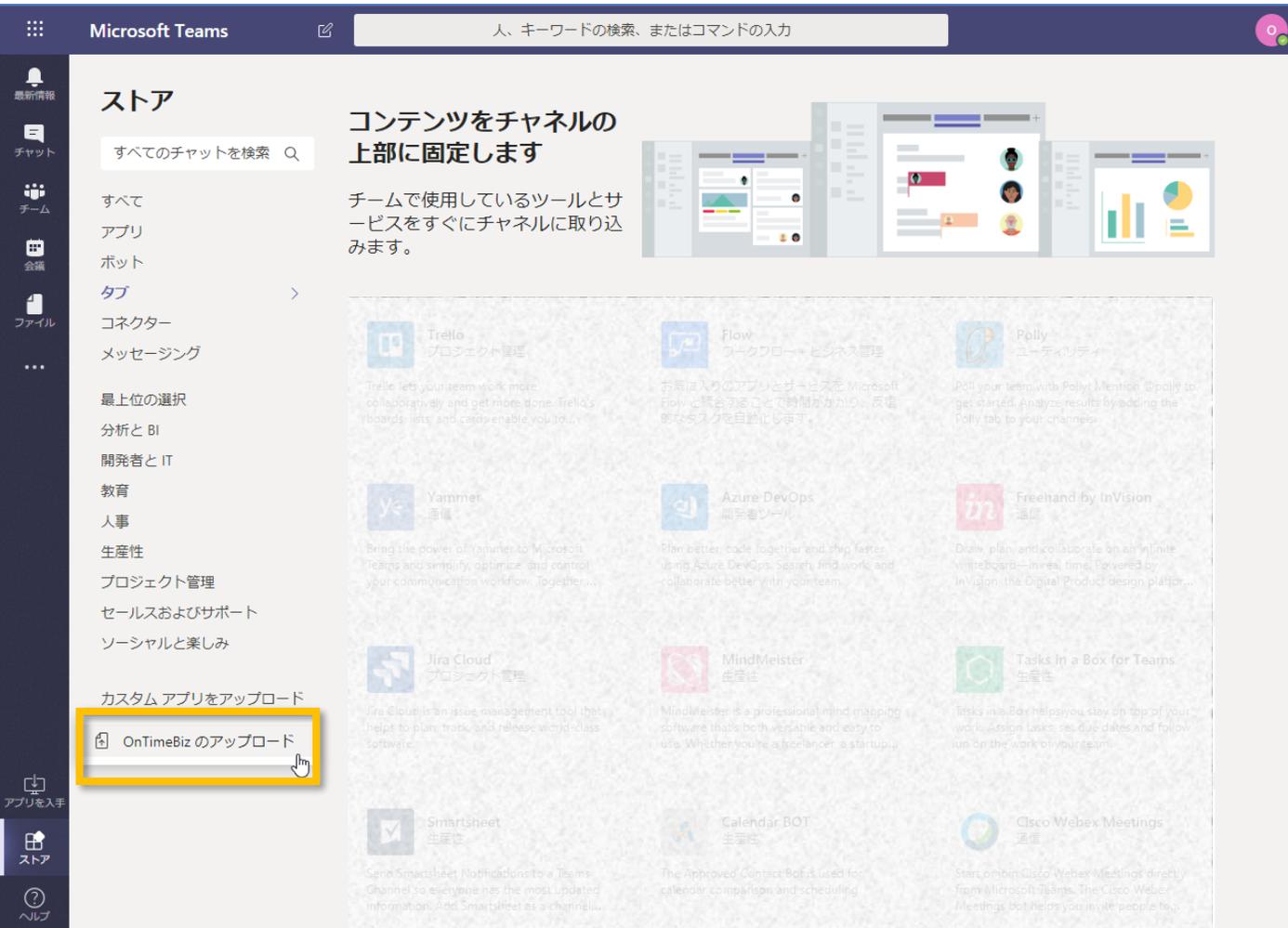
- 「タブの追加」ダイアログボックスが開きますので「その他のアプリ」をクリックします

Teamsストアへアプリの新規登録 3



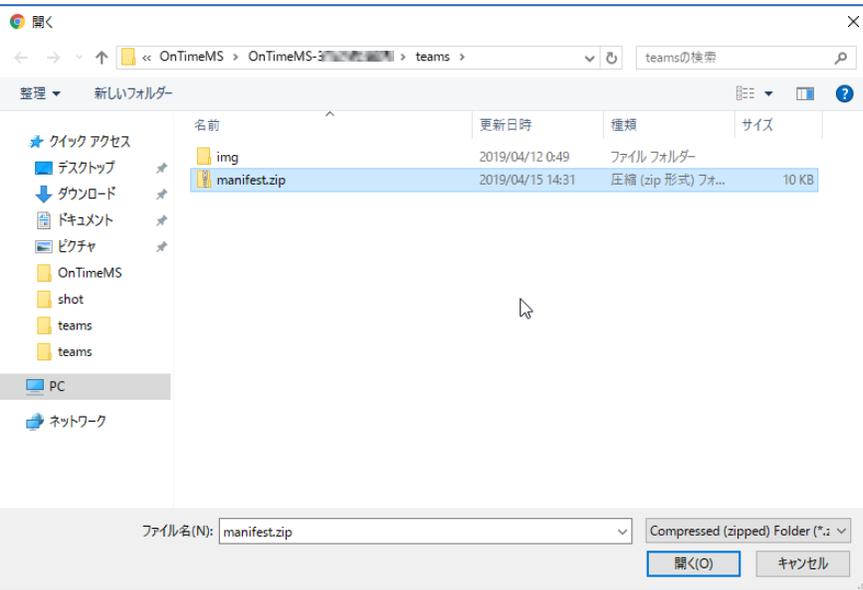
- ストア画面に切り替わります
- 「カスタムアプリのアップロード」をクリックします

Teamsストアへアプリの新規登録 4



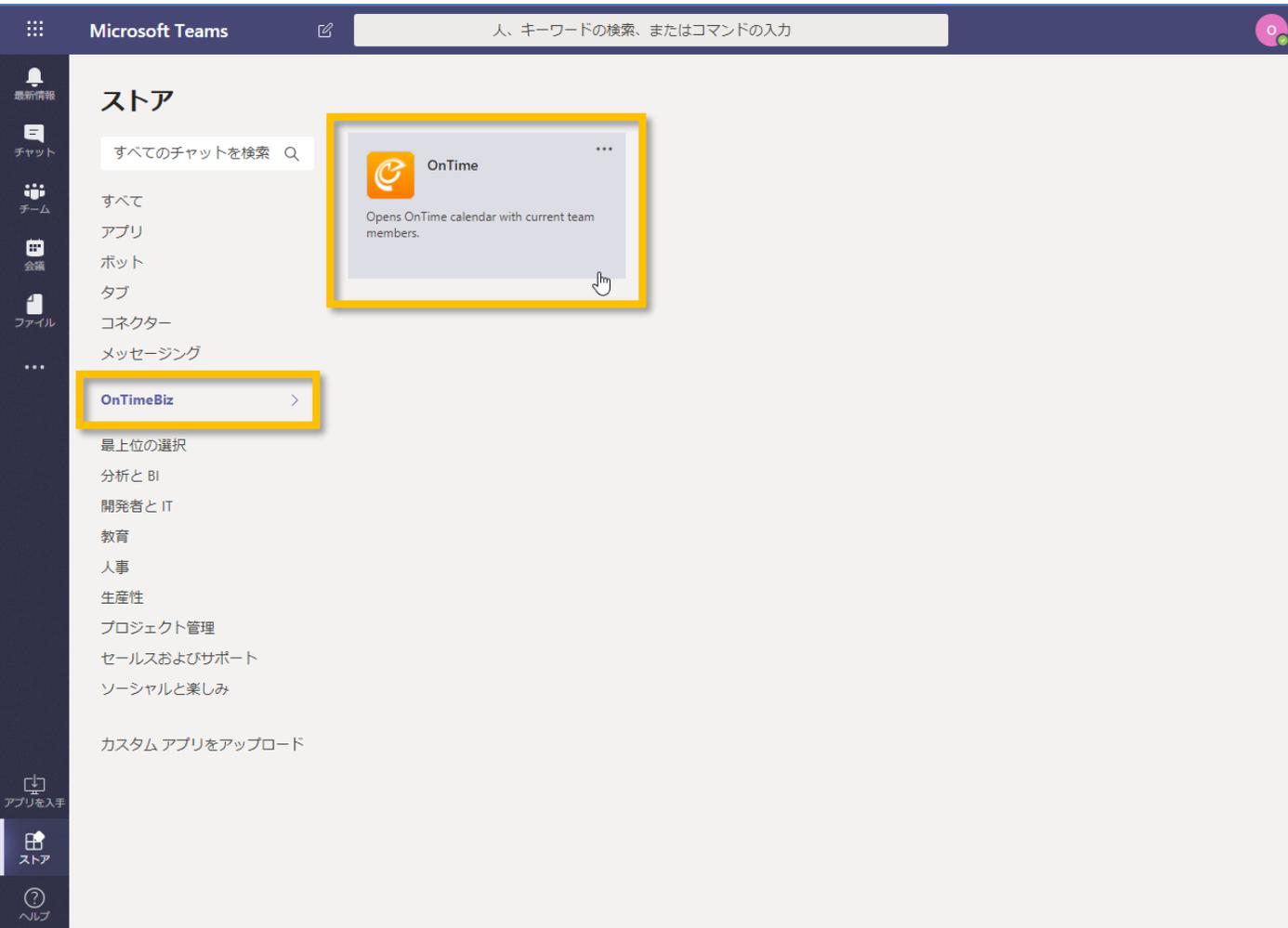
- さらに「[組織]のアップロード」をクリックします

Teamsストアへアプリの新規登録 5



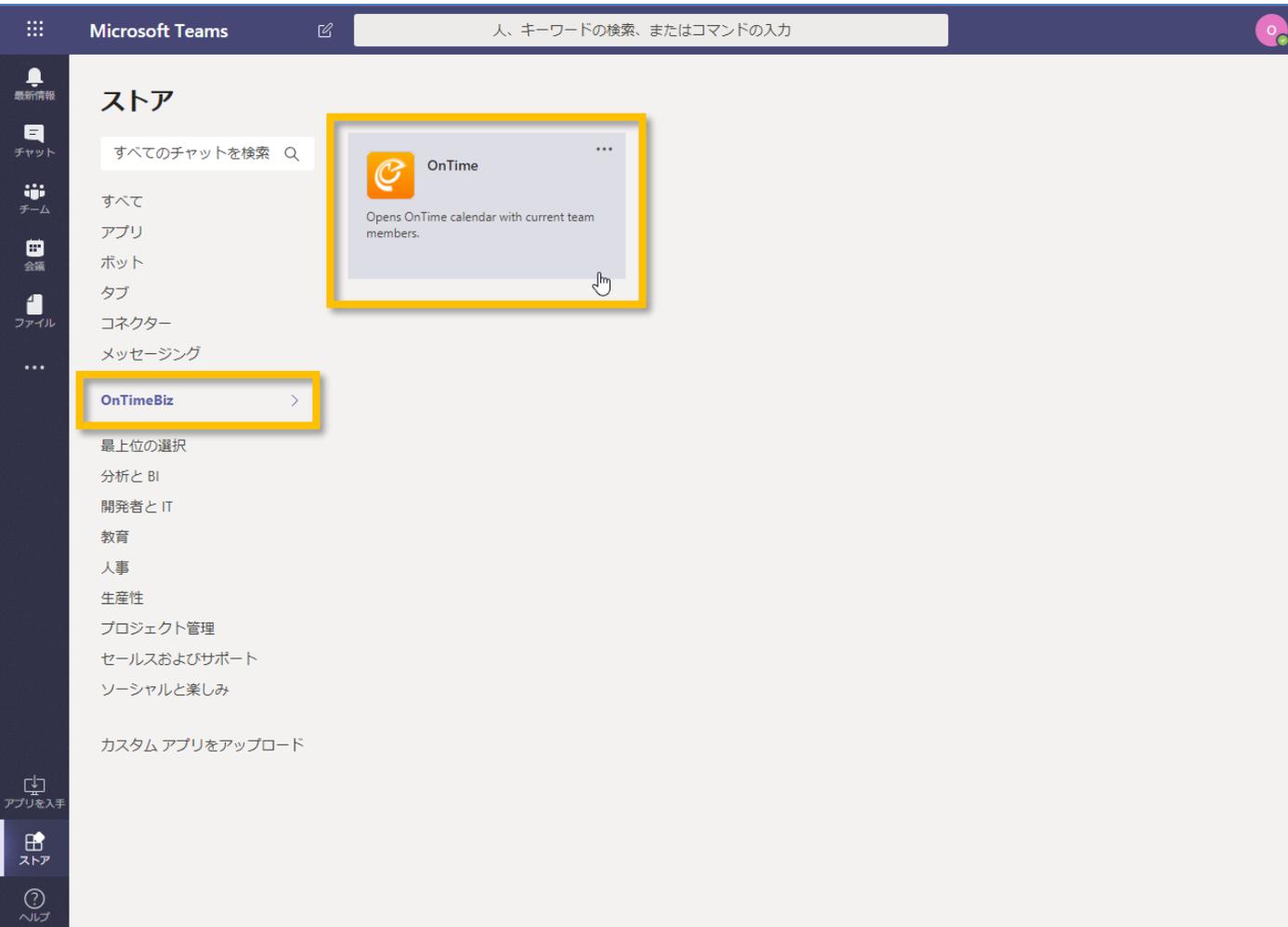
- 先ほど作成したzipファイルを選択します

Teamsストアへアプリの新規登録 6



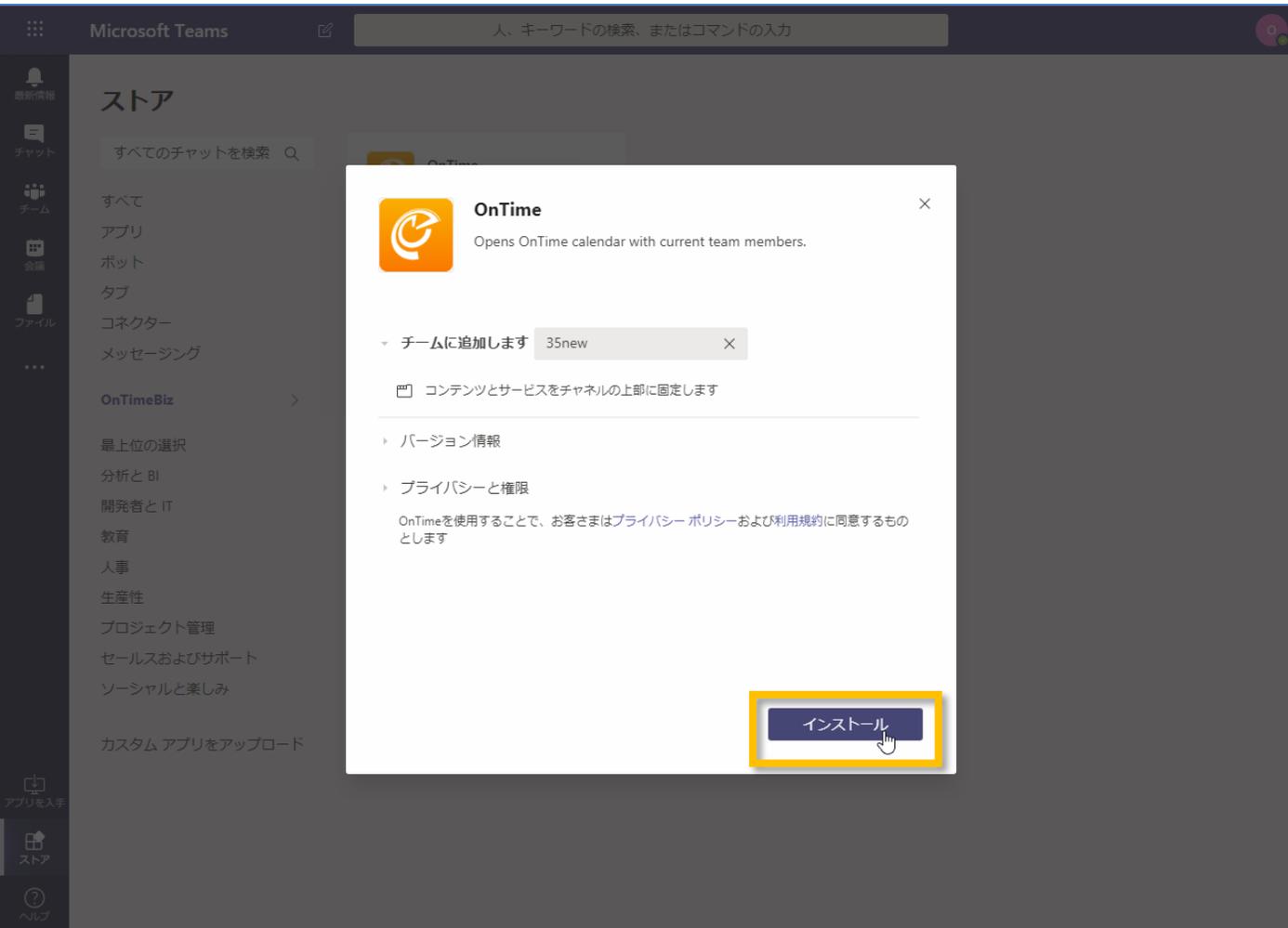
- ストアカテゴリに[組織]が表示され、中に「OnTime」アプリが登録されています
- エラーが表示される場合は管理者にご相談ください
- IE11を使用している場合はエラーになる可能性があるためChromeをお勧めします

続きチームにアプリの追加 1



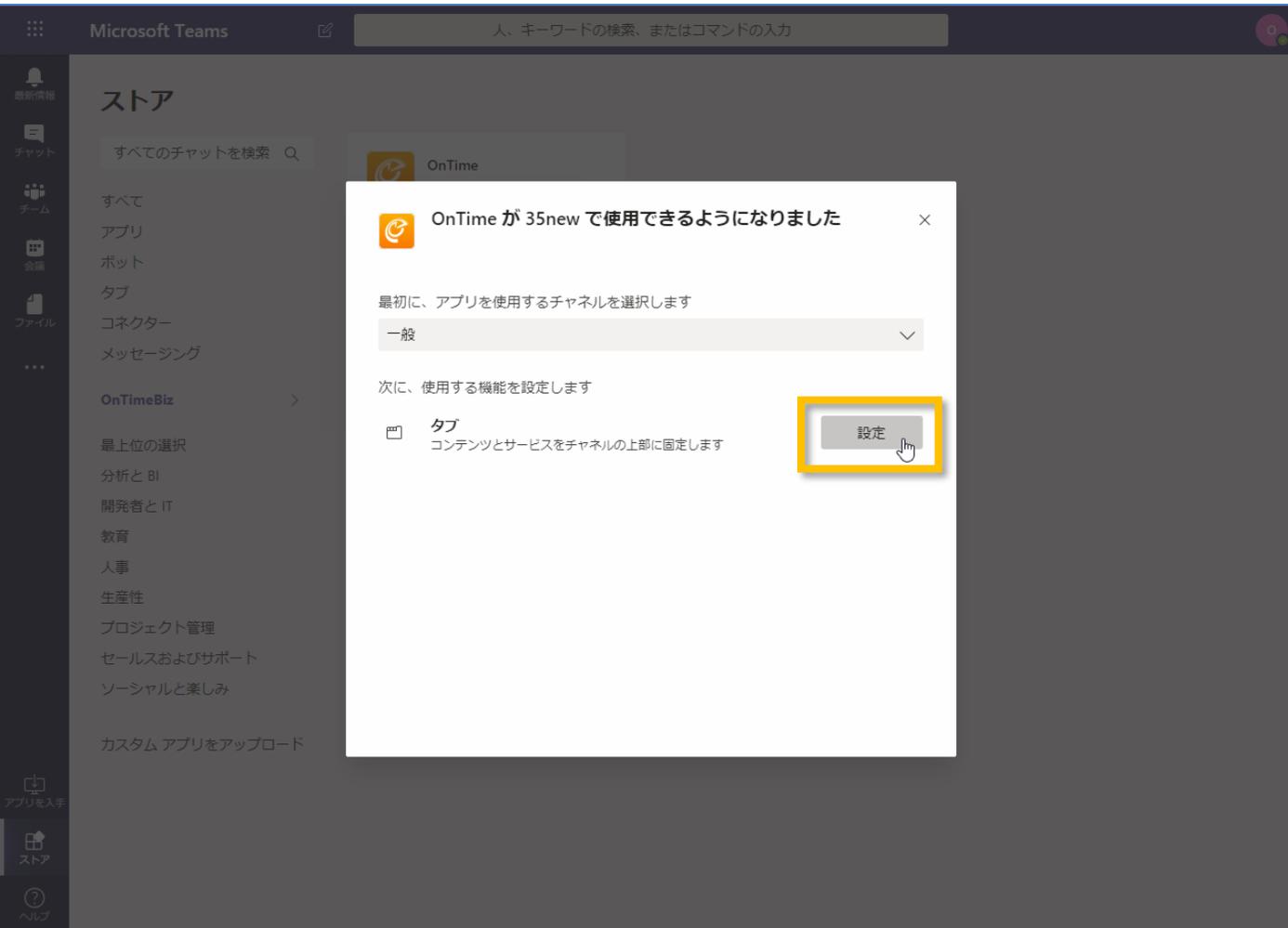
- 「OnTime」アプリをクリックして選択します

続きチームにアプリの追加 2



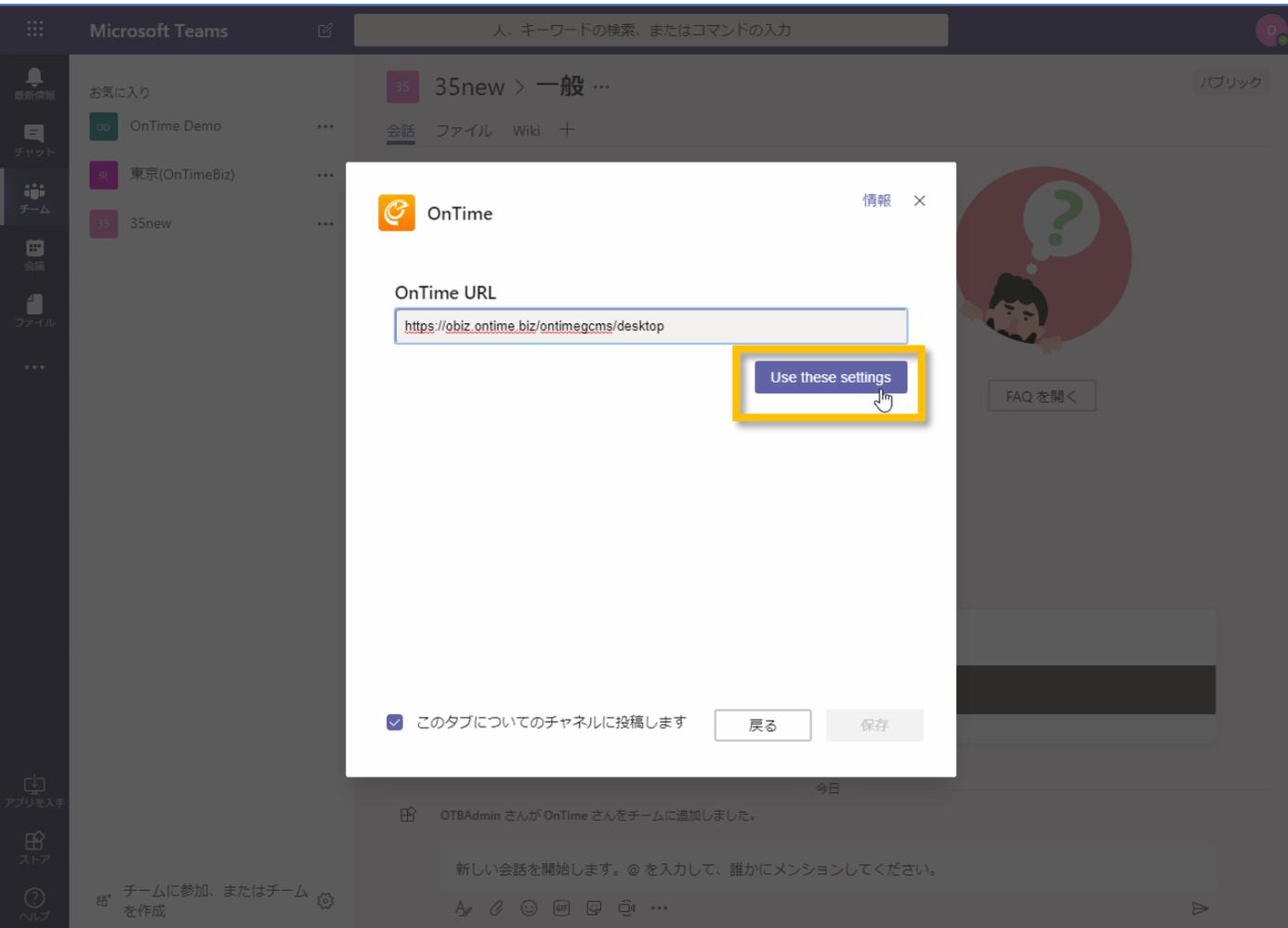
- チームへ追加する画面に戻りますので「インストール」をクリックします

続きチームにアプリの追加 3



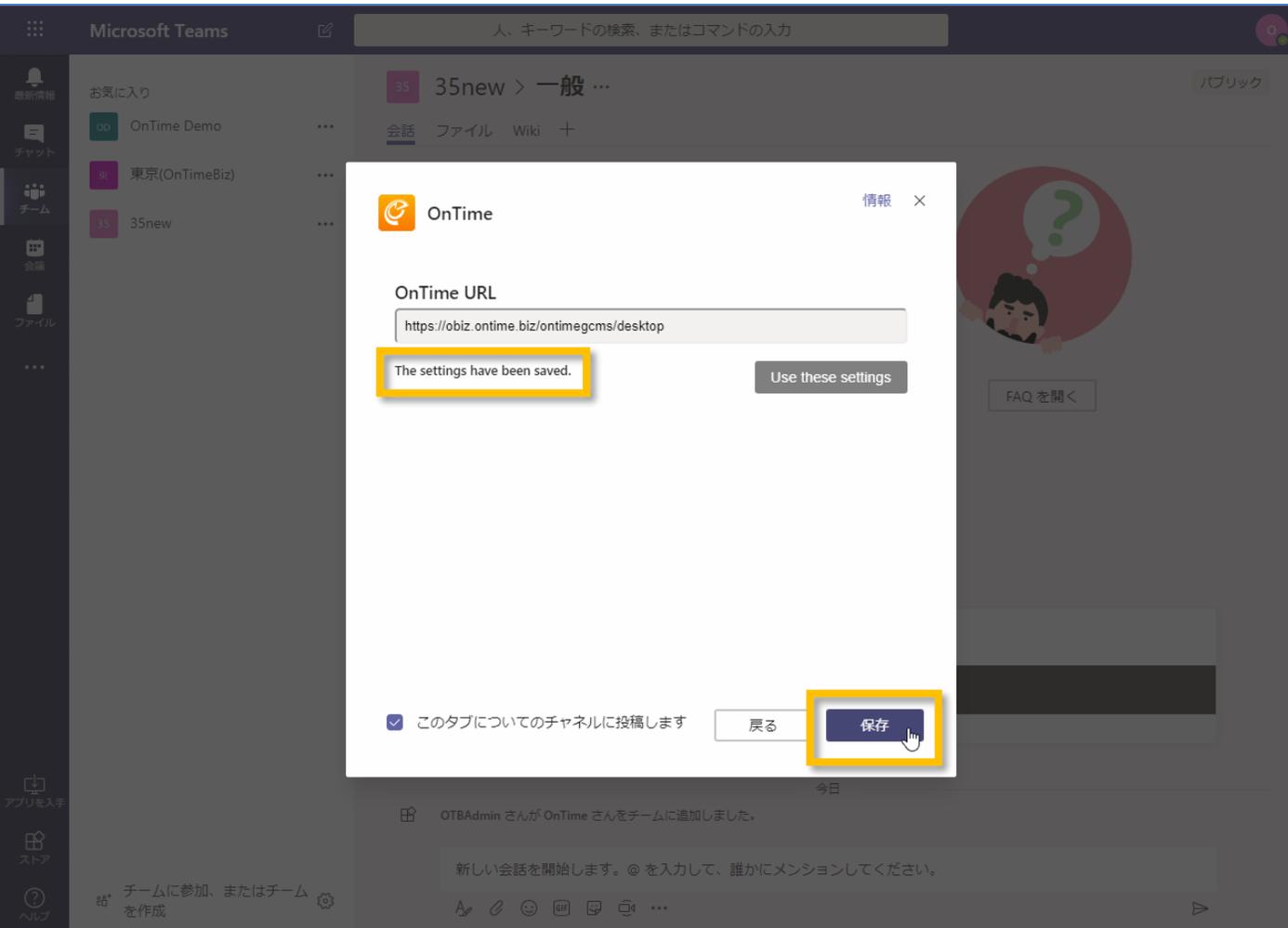
- 「設定」をクリックします

続きチームにアプリの追加 4



- OnTimeURLが表示されている右下の「Use these settings」をクリックします

続きチームにアプリの追加 5



- 正常に保存できれば画面のように「The settings have been saved」と表示されます
- 「保存」をクリックして作業を完了します

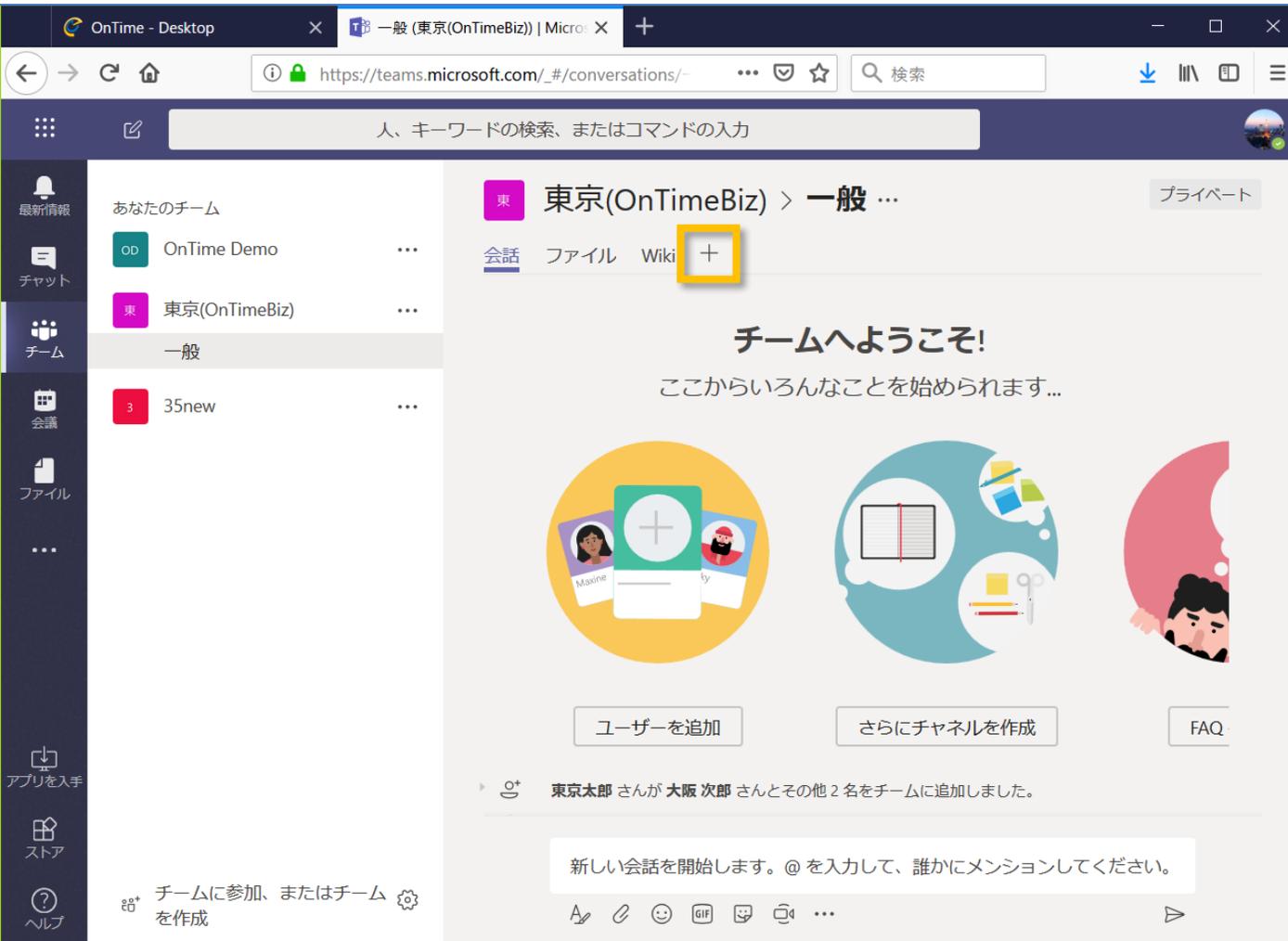
続きチームにアプリの追加 6



The screenshot shows the Microsoft Teams interface. In the top navigation bar, the 'OnTime' tab is highlighted with a yellow box. The main content area displays the OnTime application interface, which includes a calendar view for April and a list of users with their availability status. The interface is in Japanese.

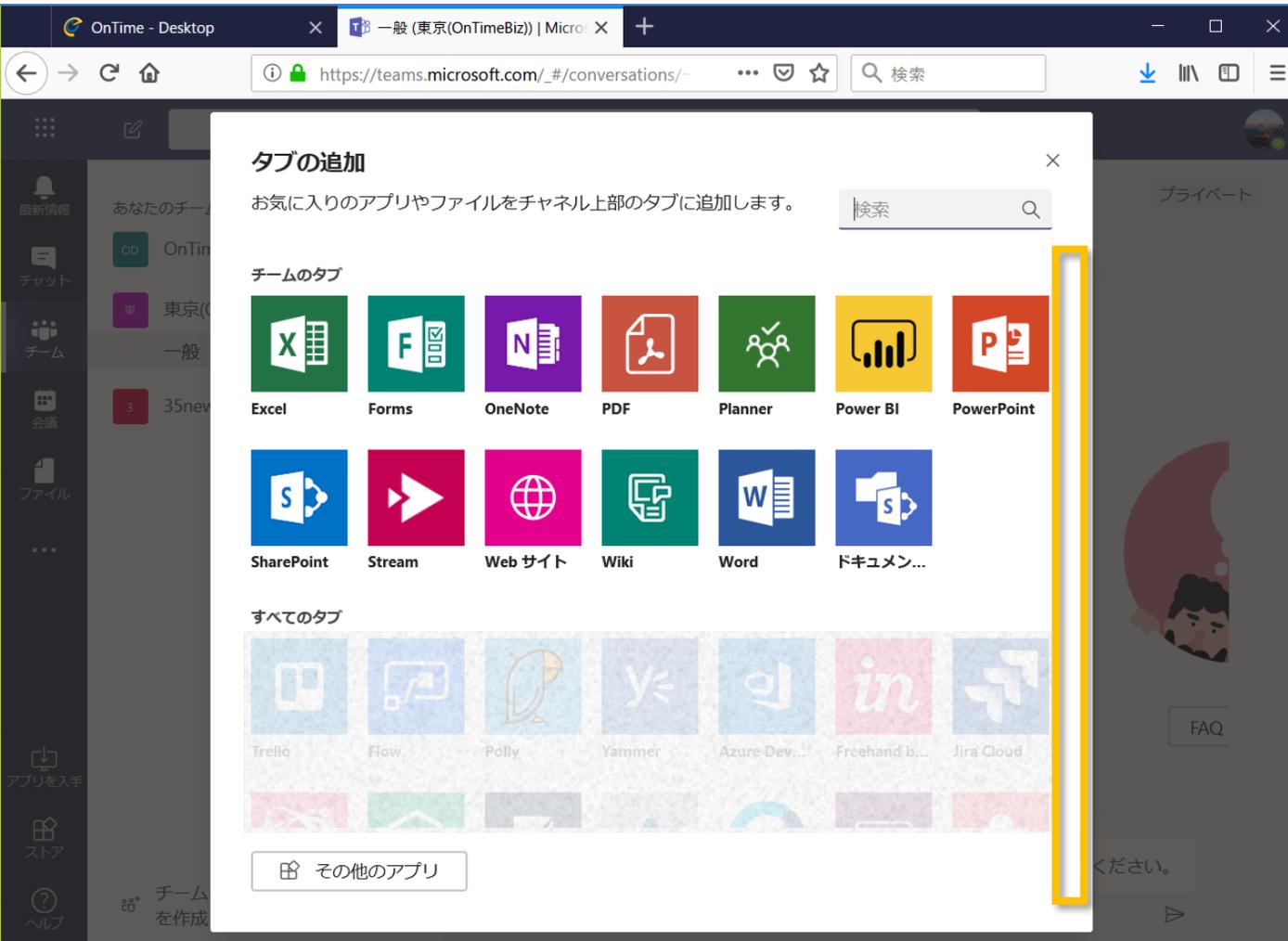
- チームの画面に戻ったらタブに追加された「OnTime」をクリックします
- Microsoft Teams用のOnTime画面が開きます

その他のチームやチャンネルにアプリを追加 1



- テナントのストアに登録が完了すると、以後は各チームの管理者が自分のチームに登録することが出来るようになります
- 違うチームのチャンネルにOnTimeを登録してみます

その他のチームやチャンネルにアプリを追加 2



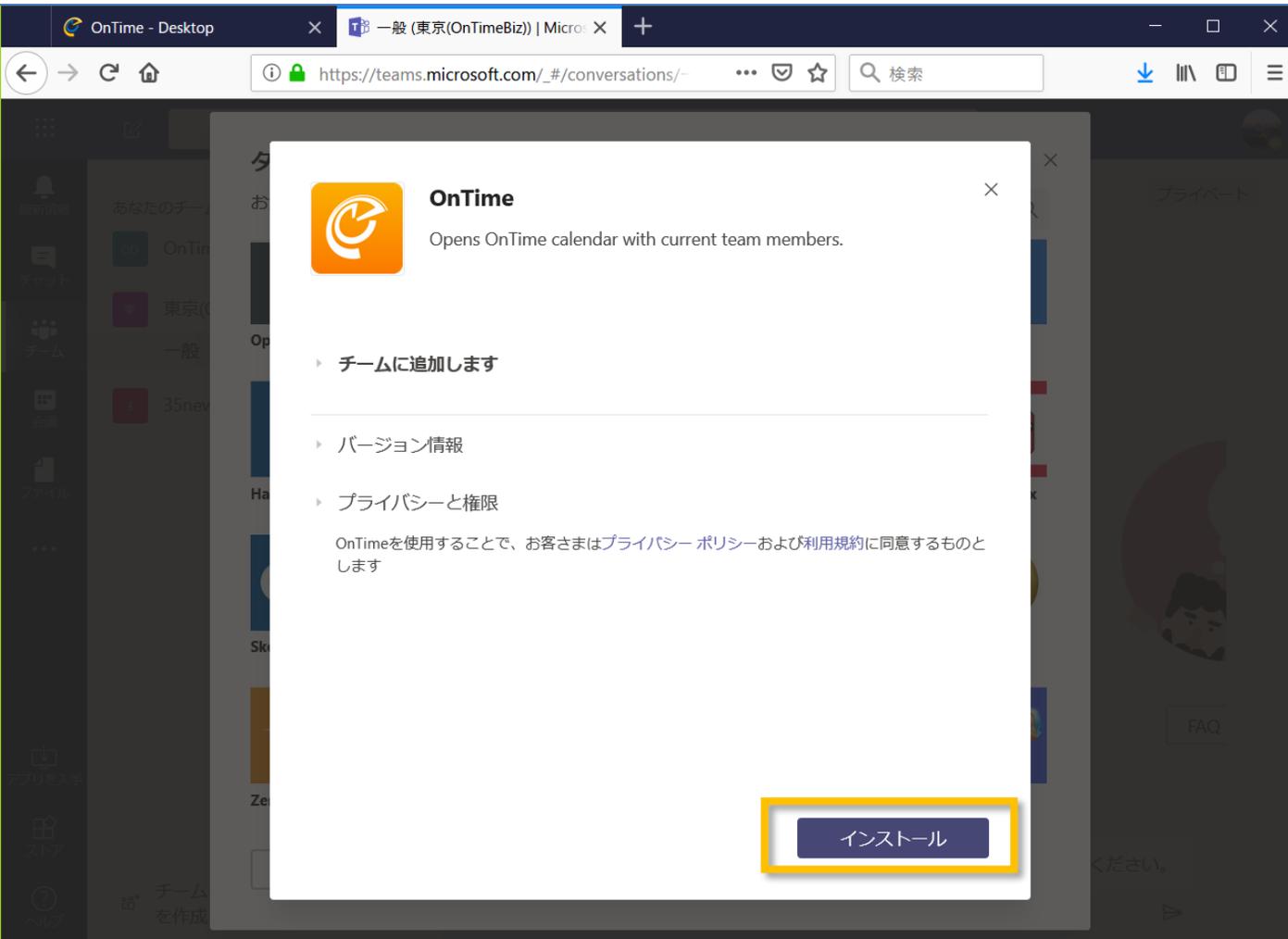
- 「タブの追加」ダイアログボックスが開きますので「すべてのタブ」で「OnTime」を探します

その他のチームやチャンネルにアプリを追加 3



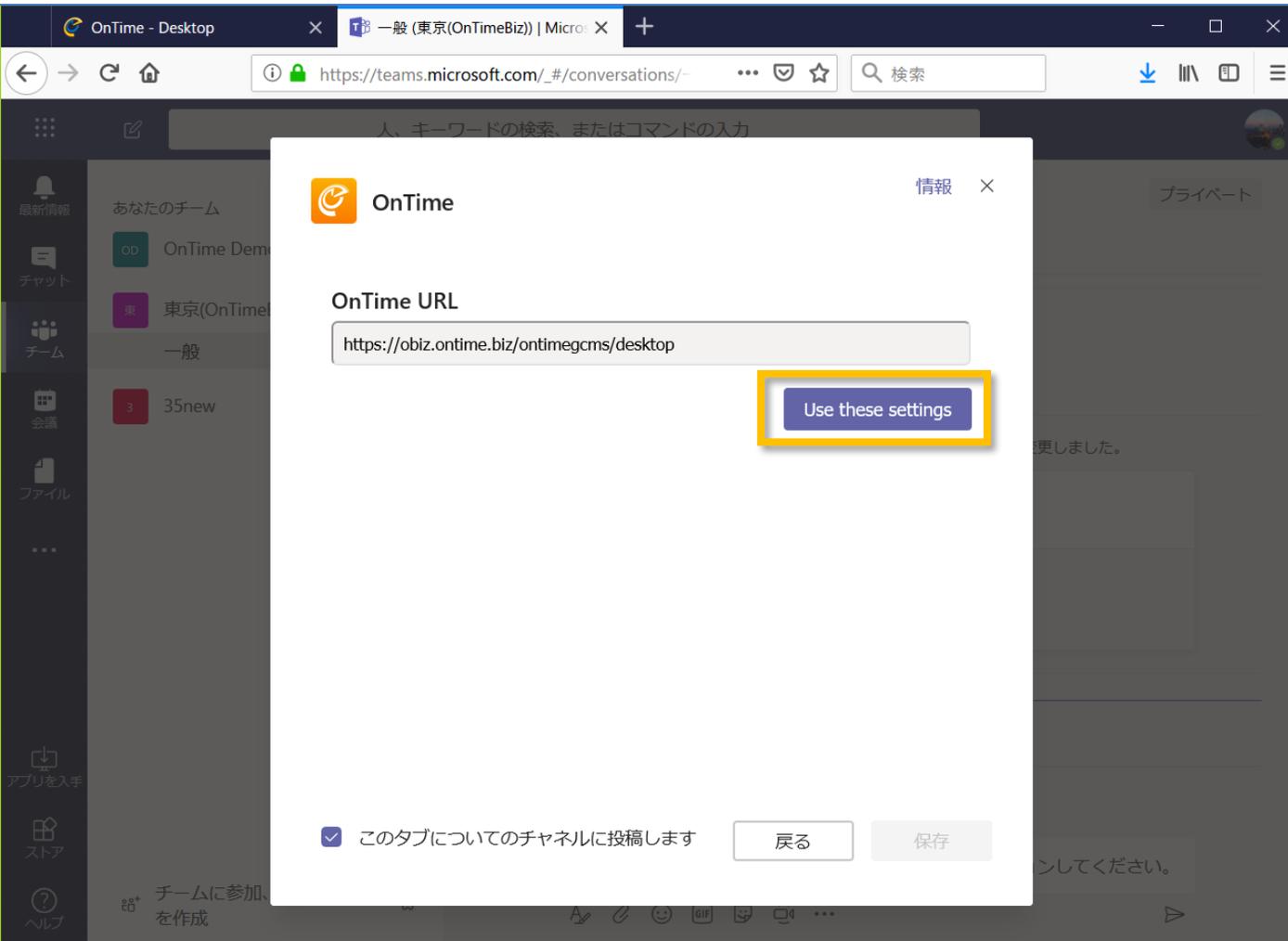
- OnTimeのアイコンを見つけたらクリックします

その他のチームやチャンネルにアプリを追加 4



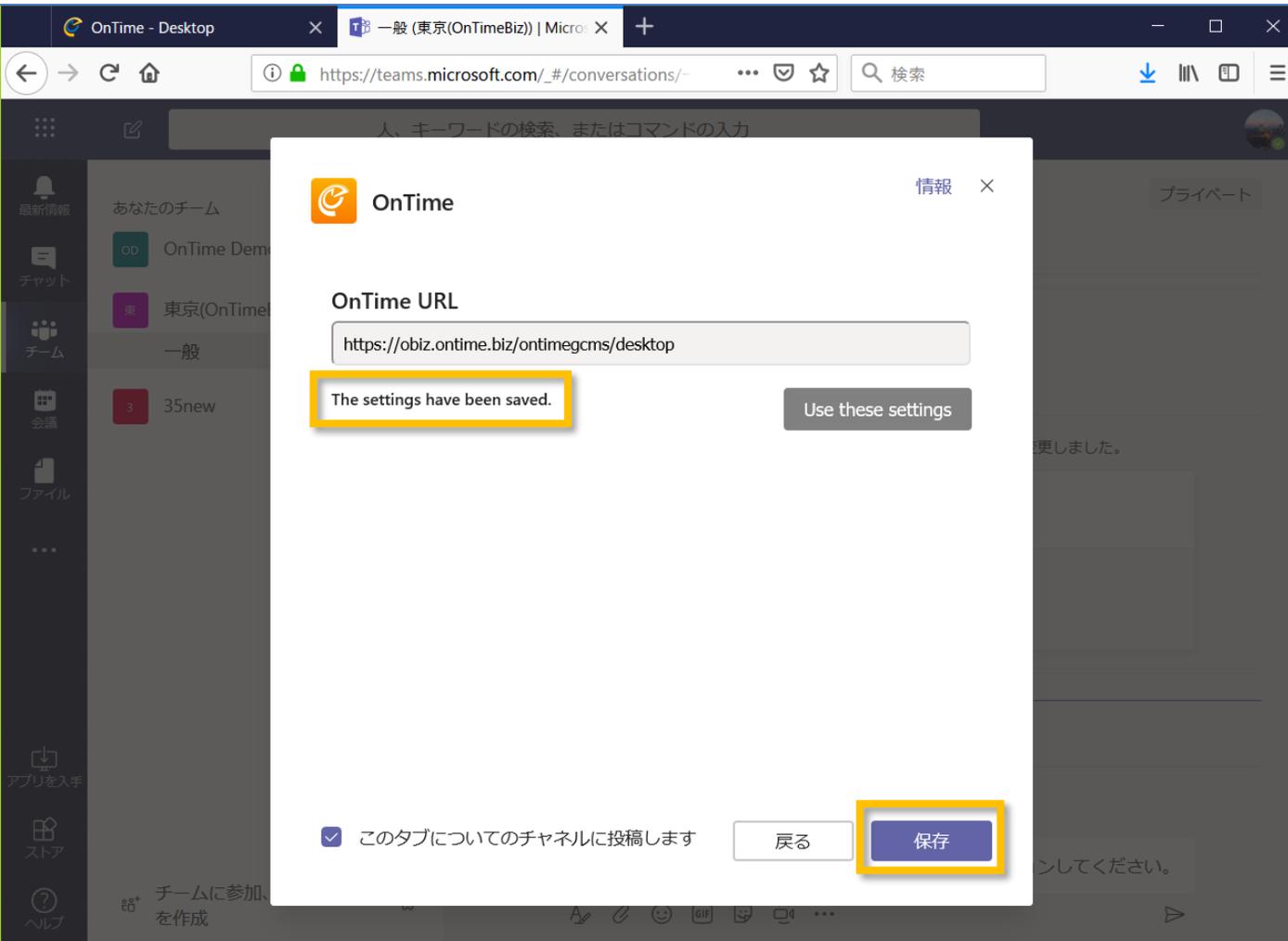
- チームへ追加する画面に移動するので「インストール」をクリックします

その他のチームやチャンネルにアプリを追加 5



- OnTimeURLが表示されている右下の「Use these settings」をクリックします

その他のチームやチャンネルにアプリを追加 6



- 正常に保存できれば画面のように「The settings have been saved」と表示されます
- 「保存」をクリックして作業を完了します

その他のチームやチャンネルにアプリを追加 7



The screenshot shows the Microsoft Teams interface. In the left sidebar, the 'チーム' (Team) section is expanded, showing the '一般' (General) channel. The 'OnTime' app is listed in the 'アプリを入手' (Get apps) section. In the main content area, the 'OnTime' app is being added to the '一般' channel. The 'OnTime' tab is highlighted with a yellow box. Below the app list, a calendar view is visible, showing dates from 4月16日 (Tue) to 4月18日 (Thu).

- チームの画面に戻ったらタブに追加された「OnTime」をクリックします
- Microsoft Teams用のOnTime画面が開きます

補足



- 以降はチームにメンバーが追加削除が行われるとOnTime上の表示も追加削除されます
- OnTime上でメンバーのイベント(予定)に対する権限はOnTimeの設定に準拠します